



使い魔
には
話せない
の L
秘密
それから



魔法学院の夏休み…

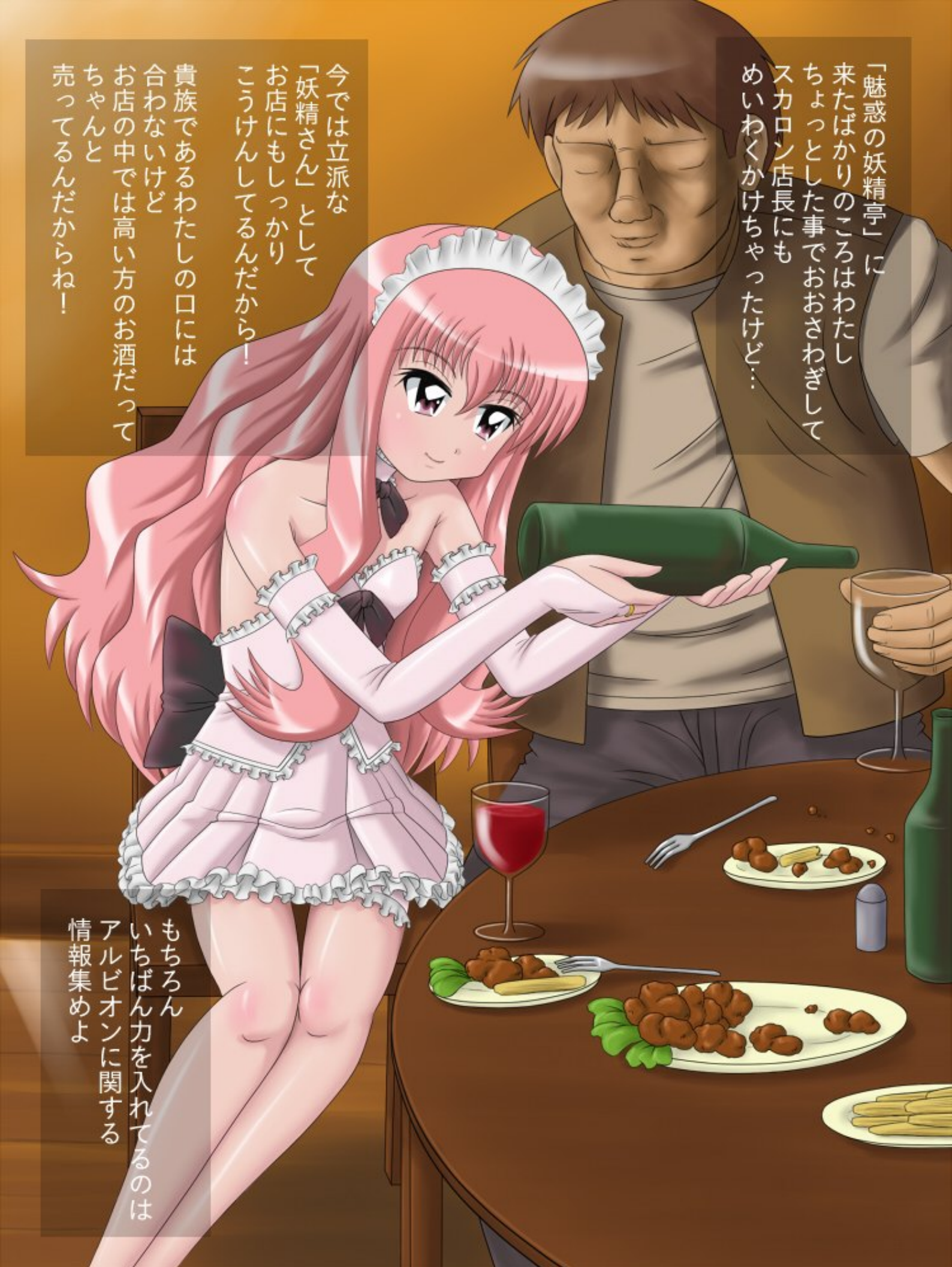
わたしと才人は
姫さまからじきじきに依頼を受け、
トリスタリア城下の酒場
「魅惑の妖精亭」で
身分をかくし
情報収集をしてた…

悪徳官吏のチュレンヌをこらしめ、
謀反をくわだてた
リッシュモンを捕らえたあとも
そのまま妖精亭にとどまり
姫さまのため
王国のため
敵国アルビオンの情報を
集めてるの…

「魅惑の妖精亭」に
来たばかりのころはわたし
ちよっとした事でおおさわぎして
スカロン店長にも
めいわくかけちゃったけど…

今では立派な
「妖精さん」として
お店にもすっかり
こうけんしてるんだから！
貴族であるわたしの口には
合わないけど
お店の中では高い方のお酒だって
ちゃんと
売ってるんだからね！

もちろん
いちばん力を入れてるのは
アルビオンに関する
情報集めよ



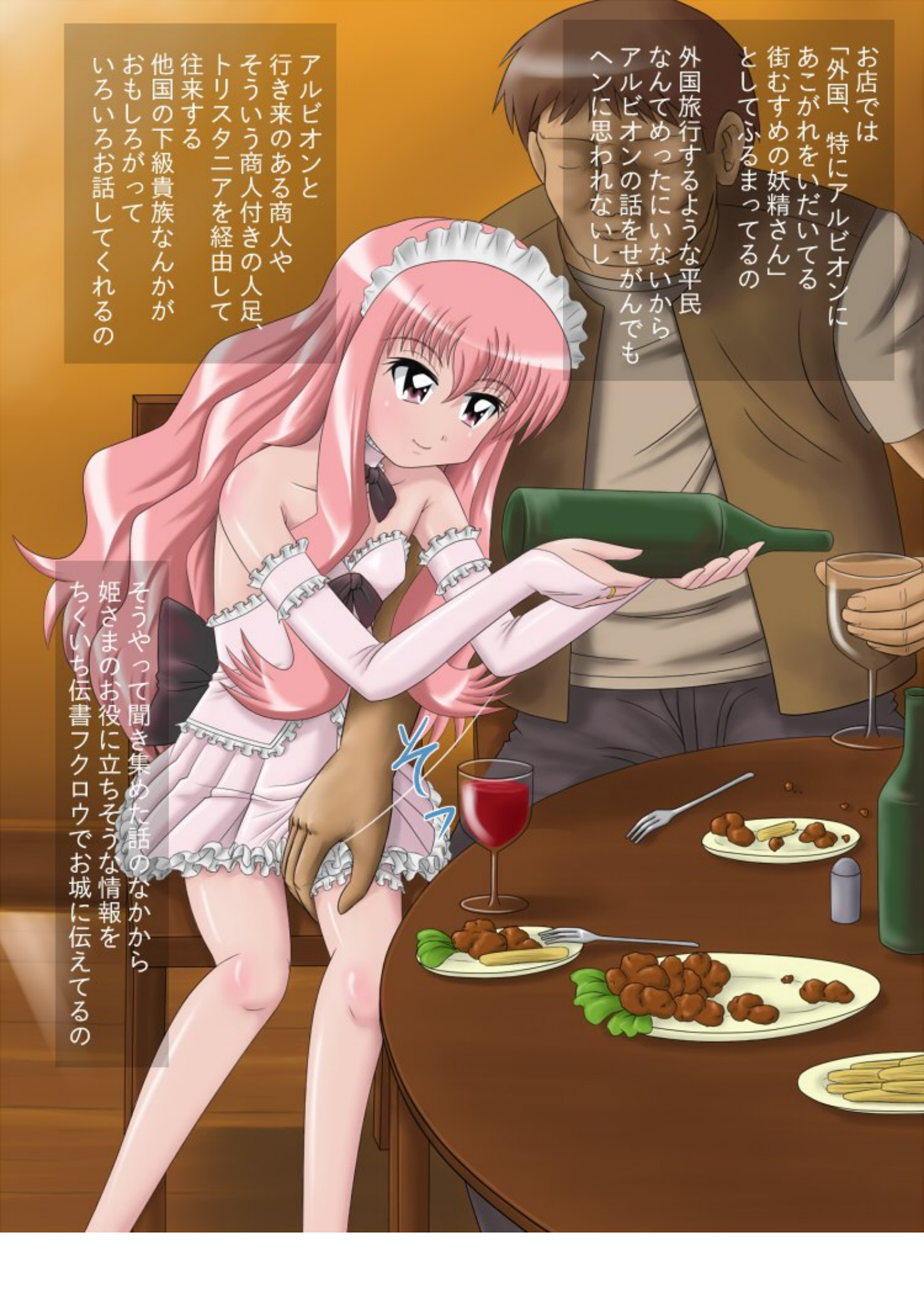
お店では
「外国、特にアルビオンに
あこがれをいだいてる
街むすめの妖精さん」
としてふるまってるの

外国旅行するような平民
なんてめったにいないから
アルビオンの話をせがんでも
へんに思われないし

アルビオンと
行き来のある商人や
そういう商人付きの人足、
トリスタニアを經由して
往来する
他国の下級貴族なんか
おもしろがって
いろいろお話してくれるの

そうやって聞き集めた話のなかから
姫さまのお役に立ちそうな情報を
ちくいち伝書フクロウでお城に伝えているの

そらア

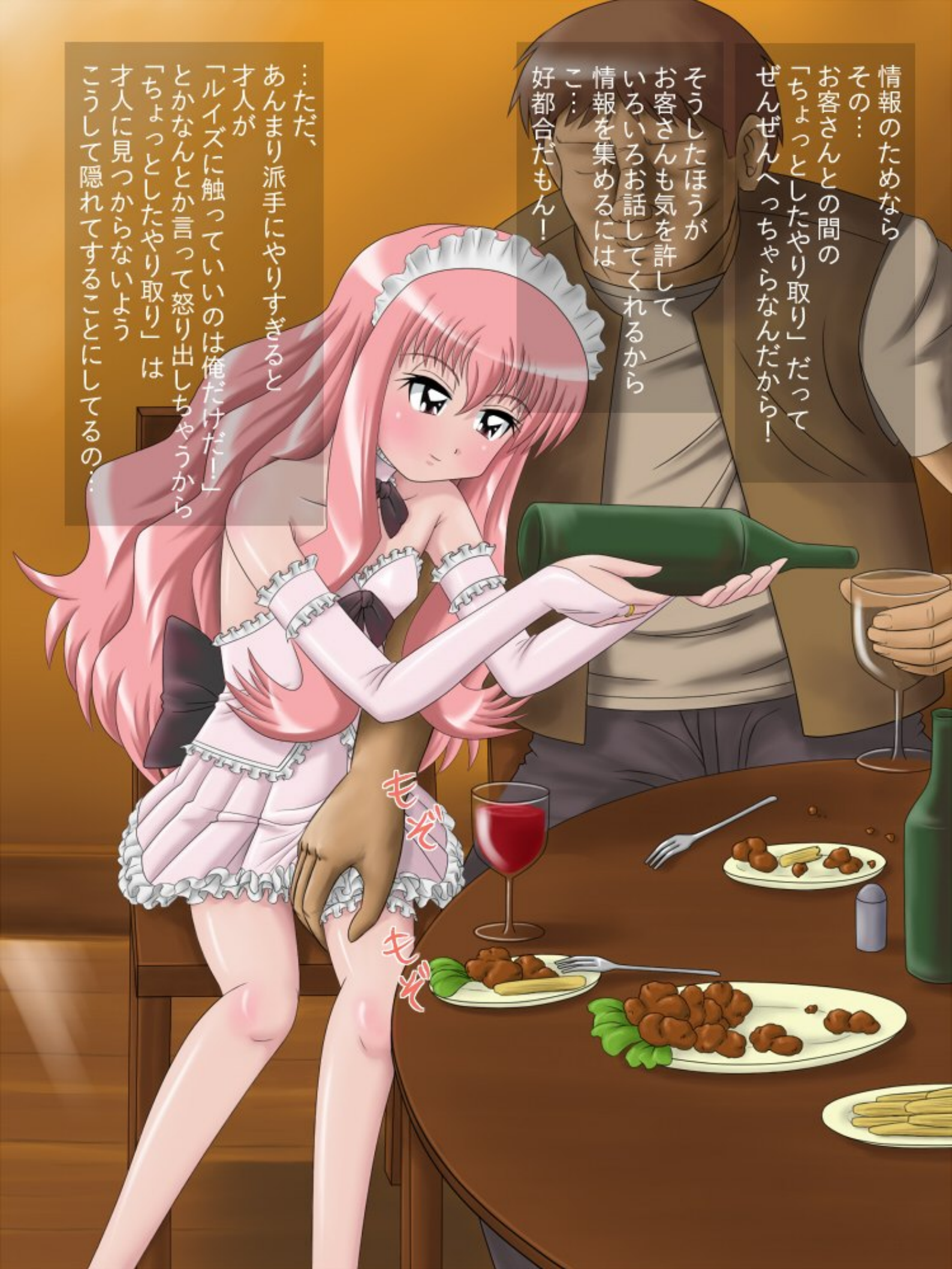


情報のためなら
その…
お客さんとの間の
「ちよつとしたやり取り」だって
ぜんぜんへっちゃんなんだから！

そうしたほうが
お客さんも気を許して
いろいろお話してくれるから
情報を集めるには
こ…
都合だもん！

…ただ、
あんまり派手にやりすぎると
才人が
「ルイズに触っていいのは俺だけだ！」
とかなんとか言ってる怒り出しちゃうから
「ちよつとしたやり取り」は
才人に見つかからないよう
こうして隠れてすることにしてるの…

もぞ
もぞ



だけど
使い魔がご主人様のすることに
口出しするなんて
ほんとはありえないんだから！

トリステインの貴族として、
そして何より
敬愛する姫さまの臣下の一員として
王国にわたしがこの身を捧げる事は
とつても名誉なことだもん！

…ま、まあ、
才人の気持ちには
その…嬉しくないこともないけど

…ほんのちよびつと嬉しいけど…

今は情報収集ゆうせんよ！
わたしってば、このていどのことは
へっっちゃらなんだから！

もぎもぎ

すすすす

しゅっ
しゅっ

もぎもぎもぎ

へっっちゃらよ、
このていどの
「ちよつと触られる」
くらしいの事…

夜…

お料理を作ったり
お皿を洗ったり
おそうじをしたり
いつもお店でんでんてこまいの才人は
布団に入るとすぐ
眠りについちゃう…

く…
す…
く…

インテリジェントソードの
デルフリンガーは
疲れた才人に
ぺちやくちやくと
しゃべりかけるものだから
怒った才人に
用具箱にほうりこまれて
カギをかけられちゃった…

ああ…
こんなこと
ありえない…
となりで
才人が寝てるのに
なんてはしたない…

でも
指が…
指がとまらないの…

さっきまでのお店のようすが
ハッキリと頭に浮かんでくる…

落ちかけた服をなおす時の胸元や
短いスカートからのぞくフトモモ、
お辞儀をしたときのお尻を
ねちっこく見つめるお客さんの目…

アルビオンの穀物相場の話を
耳元でささやきながら
わたしのフトモモや
スカートの中を撫でまわす
ごっこつした指…

お酒臭い息で
わたしを店外デートに誘う
赤ら顔の男の人たち…

…んふっ

…っ

…

モッ

ゴッ

ブル

くちゅ

くちゅ

くちゅ

くちゅ

くちゅ

くちゅ

くちゅ

くちゅ

くちゅ

くちゅ

くちゅ

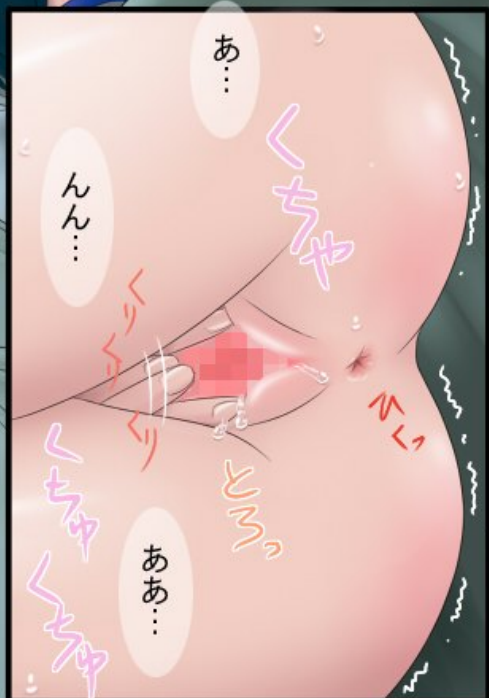
くちゅ

くちゅ

くちゅ

くちゅ

くちゅ



そしていつしか
わたしの指は
ある男の舌の動きを
まねするように
ゆつくりと
...その...
ア...アソコを
何回も
こすってる...

あの
大きくて
厚い舌が
「ペロペロ」って
やるみたいに
何回も何回も...

...あつ
んっ...

ちよつと前まで
三日とあけずに呼び出して
わたしの身体を
ほしいままにした
あの男...



男はわたしの身体をすみずみまで…その…味わい尽くすと
最後に情報のかかれた羊皮紙をいつも手渡してくれた…
そうやってわたしは夏休みのあいだじゅう
数え切れないほど男に抱かれたけど、
抱かれたのと同じ数だけアルビオンの情報を
姫さまにお渡しすることができたから
それって王国にとっては大きな功績よね…？

ああ…
はあはあ
はあはあ

才人は…
才人はもちろん
このことを
知らない…

ほれ
鞆をこうやっ
剥いて…
レロレロレ
レロレロレ
レロ…

でも、そんなの当たり前じゃない！
わたしはご主人様で才人は使い魔なんだから！
ご主人様のやることはぜったいなんだからあ！
それに…平民だし…

ひっ！？

あ！あ！あ！

…だ、だめ

なのに…
男からの呼び出しは
もう半月近くなかった…

あれだけわたしを
何回も呼びつけたのに
なんなのよ！
何回もいやらしいこと
したくせに
なんなのよ
ったらなんなのよ！
なんなのよ！
もう…

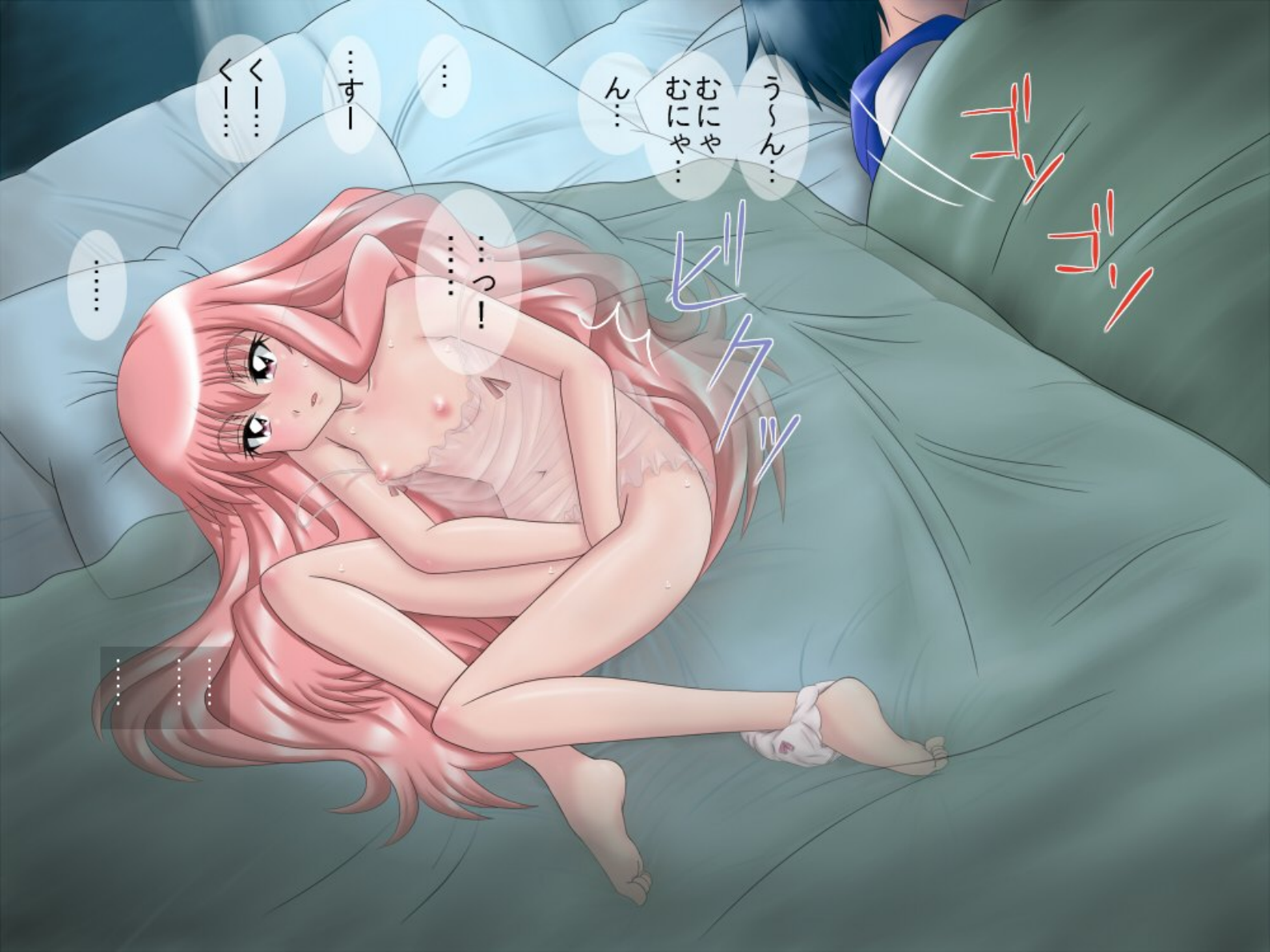
も、もちろんいちばんの問題は
男から受けとってた情報が
入ってこなくなったこと
なんだから！
くやしいけど
お店で集める情報とは
ちよっとくらべもの
にならないわ…

……
……

あっ…
んっ…
はっ…
はっ…
はあはあ…

ああ…
頭ではわかっているの…
トリスティンと
アルビオンの緊張が
高まっている
今こそ
情報が必要なんだって…
でも…でも…





くく...

すー

...

ん...

むにや
むにや...

うん...

ゴッ
ゴッ

.....

.....
っ!

ビッ
ッ

.....
.....



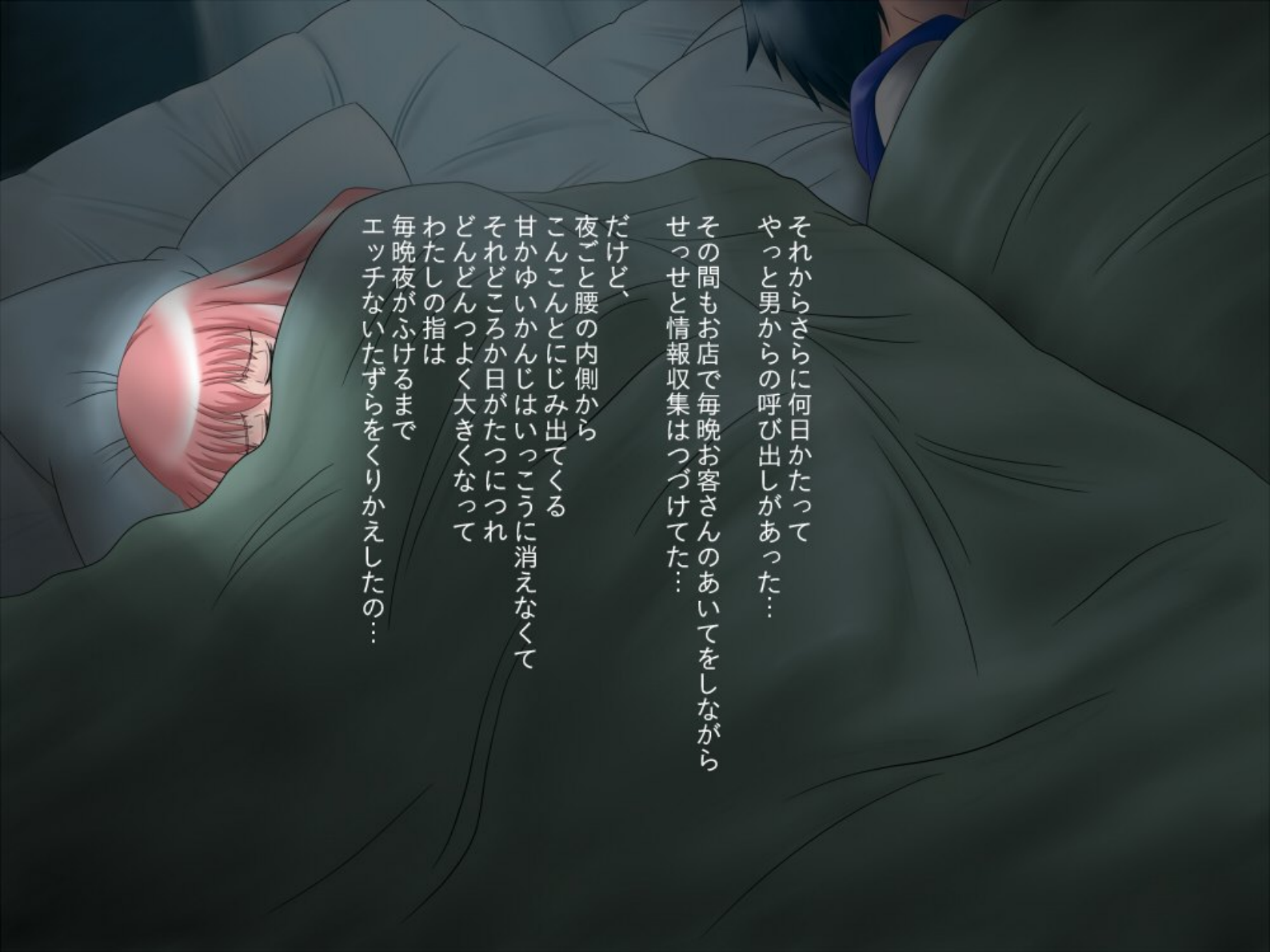
く！…

す！…

く！…

才人…
わたし…
…

もぐ



それからさらに何日かたって
やっと男からの呼び出しがあった…

その間もお店で毎晩お客さんのあいてをしながら
せつせと情報収集はつづけてた…

だけど、

夜ごと腰の内側から

こんこんとにじみ出てくる

甘かゆいかんじはいっこうに消えなくて

それどころか日がたつにつれ

どんどんつよく大きくなって

わたしの指は

毎晩夜がふけるまで

エッチなはずらをくりかえしたの…

通い慣れた道を通り
わたしはトリスタニアはずれの
貧民街に向かった…

馬車も入れないような
細い路地をいくつも抜けた先に
情報とわたしの身体を
交換するためだけに使う
その安宿はあるの…

じめじめした空気と
ほこりっぽいすえたにおい…
貴族であるわたしには
まるで似つかわしくない
薄暗いこの部屋で
男はわたしをまっていた…

よおルイズ、
久しぶりだな
変わりはねえか？



べ、別に
今まで
どおりよ！

そ…それよりあんた
何でれんらく
してこないのよ！
情報…
ないとこまるじゃない！

こっちにも
いろいろ
都合ってやつが
あるんだよ！



それに困るのは
情報の事だけか？

…な、
なんの話よ！

へへへ、まあいい…
それより今回は
俺の言いつけを
守れたのか？
見せてみる

……

ううう…

お！
ちゃんと
パンティ着けずに
店からここまで
歩いて来たか！

す、すーすーして
すぐく
きもち悪かったん
だからあ！
うう…

お前が部屋に
入ってきたら
俺の好きな
お前の股ぐらの
甘い匂いが
ぷうんと
漂ってきたぞ

え…！？
う、嘘！
わたし…におうの？
そんな…

くっくっくっ

…
ば…
ばかばかばか！



ルイズよお、
今まで何度言い付けても
やらなかったノーパンを
今回に限ってやるたあ
どういう風向きだ？

う、うるさいわね！
あんたがあんまりしつこく
何回もいうから
い、いっつかいくらい
やってあげようと
思っただけよ！



情報のために
仕方なく、
か？

そ、そうよ！
あたりまえじゃない！

仕方なく、ねえ…
だがそれにしちやあよお、
ほれ…

フル

フル

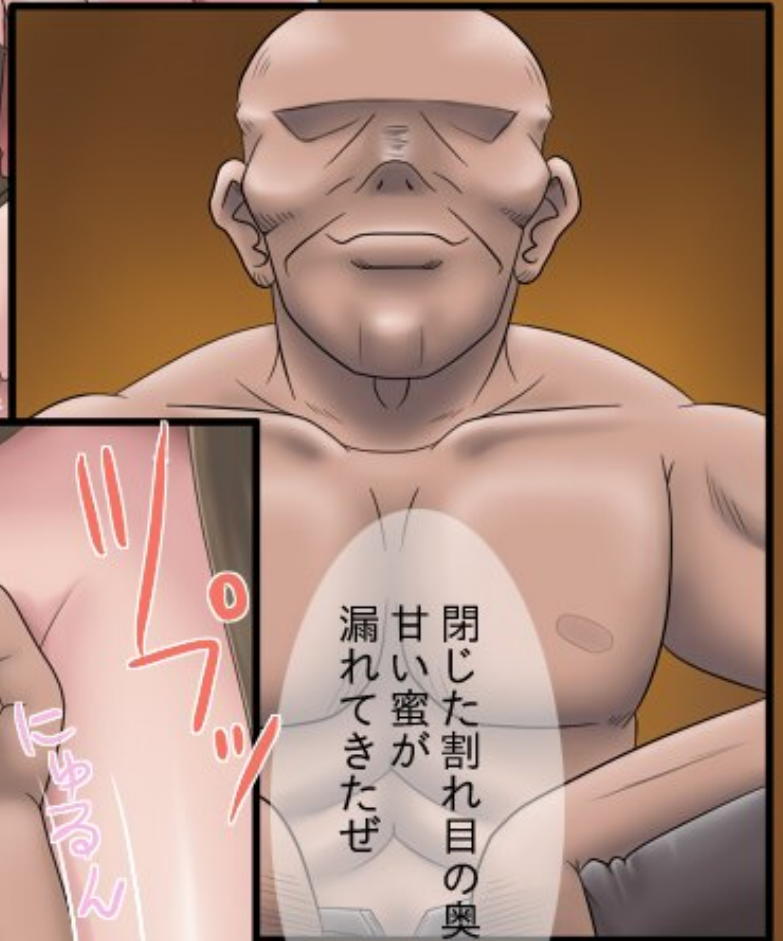
あ！んん！
ちよ、ちよっと…

仕方なくにしちやあ
随分すんなりと
飲み込んだもんだな
まだ何もしてねえのに
穴ん中はもう
たっぷり濡れてるぜ！

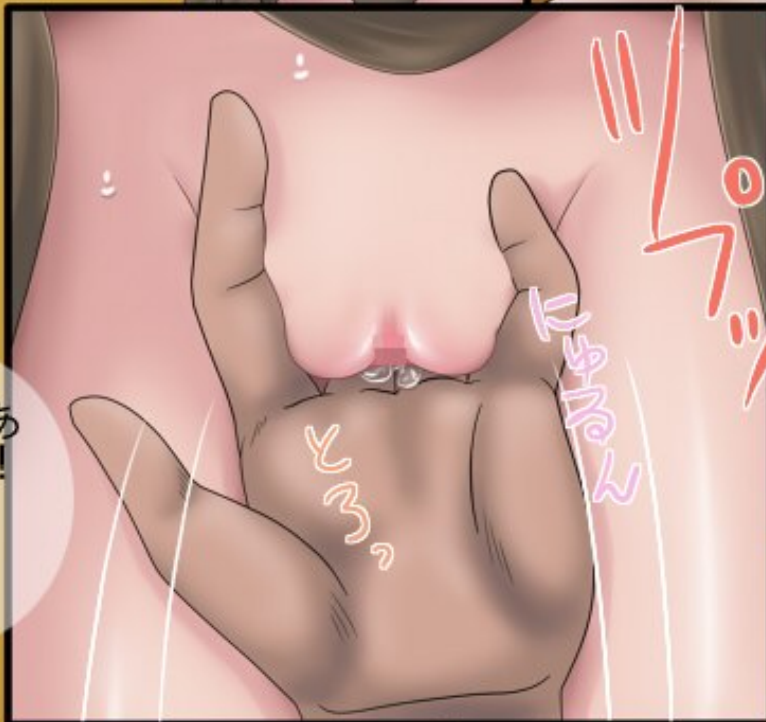
あっ！

ああ…

ブル



閉じた割れ目の奥から
甘い蜜が
漏れてきたぜ



あ！
や、やだ…
抜いて！

ブル

あ！
やだ！ちよっと！
あ！…んっ！

へへへ…
ここに来るまで
お前がパンティを
穿いて無いことに
気付かれ
なかったか？

ん…

うっ…

ああ…

き、きをつけて
あるいたから…
…だ、大丈夫よ
たぶん…

ブルブル

本当か？
街の連中はみんな
お前が下着も着けずに出歩いて
股を濡らしちまう
インランな貴族だって
気付いてるんじゃないのか？

う、うそよ！
そんなはずない！

あ！あ！
ちよ、ちよっともう
指やめてよ！

くっ
くっ
とろとろ
フチャ
フチャ
フチャ
フチャ

ブル

ブル

橋向こうの
露店のオヤジはどうだ？
お前が前を通るたび
いやらしい目で
見つめてるんだろ？
今日はどうだった？

この宿の下男の前さんはどうだ？
いつも階段の下からお前の尻を
盗み見ようとするんだろ？
お前の可愛い尻たぶを
見られちゃったかもしれないぜ？

んん…
ス…スカート押さえて
のぼったもん…
はああ…

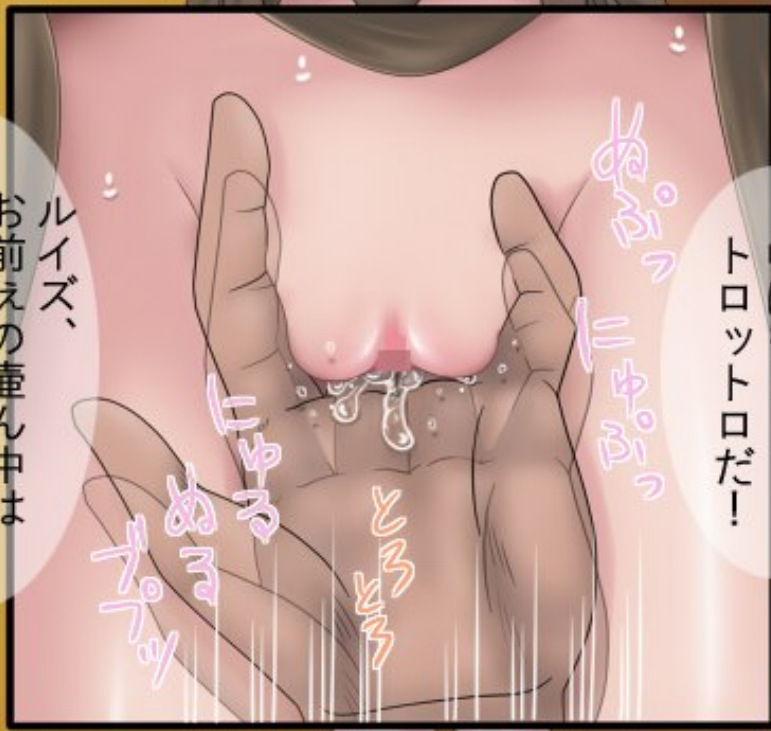
うくっ！…
わ、わかんない…
きょうは…早足で…
んん…
とおったから…

…くっくくく
中はもう
トロットロだ！

はあはあ

あっあっ

んん！
んん！



ルイズ、
お前えの壺ん中は
変わりが無いようで
安心したぜ

……

はあ…
はあ…

へへへ…
いいかルイズ
これからも俺の呼び出しの
行き帰りは
パンティもブラも
身に着けるなよ

ううう…
そんなあ…

わ、わかったわよ！
もう、なんなのよう…

…
くっくくく



一度出来たなら
やれるだろ？
俺の言い付けが
守れないなら
取引を止めるか？

プチュ
とろとろ

ブル

ブル

ブル

はあ：
ふう：
それより
情報はちやんと…

ああ
もちろん
用意してあるぞ

そ、そう…
ならさっさと
済ませてよね！

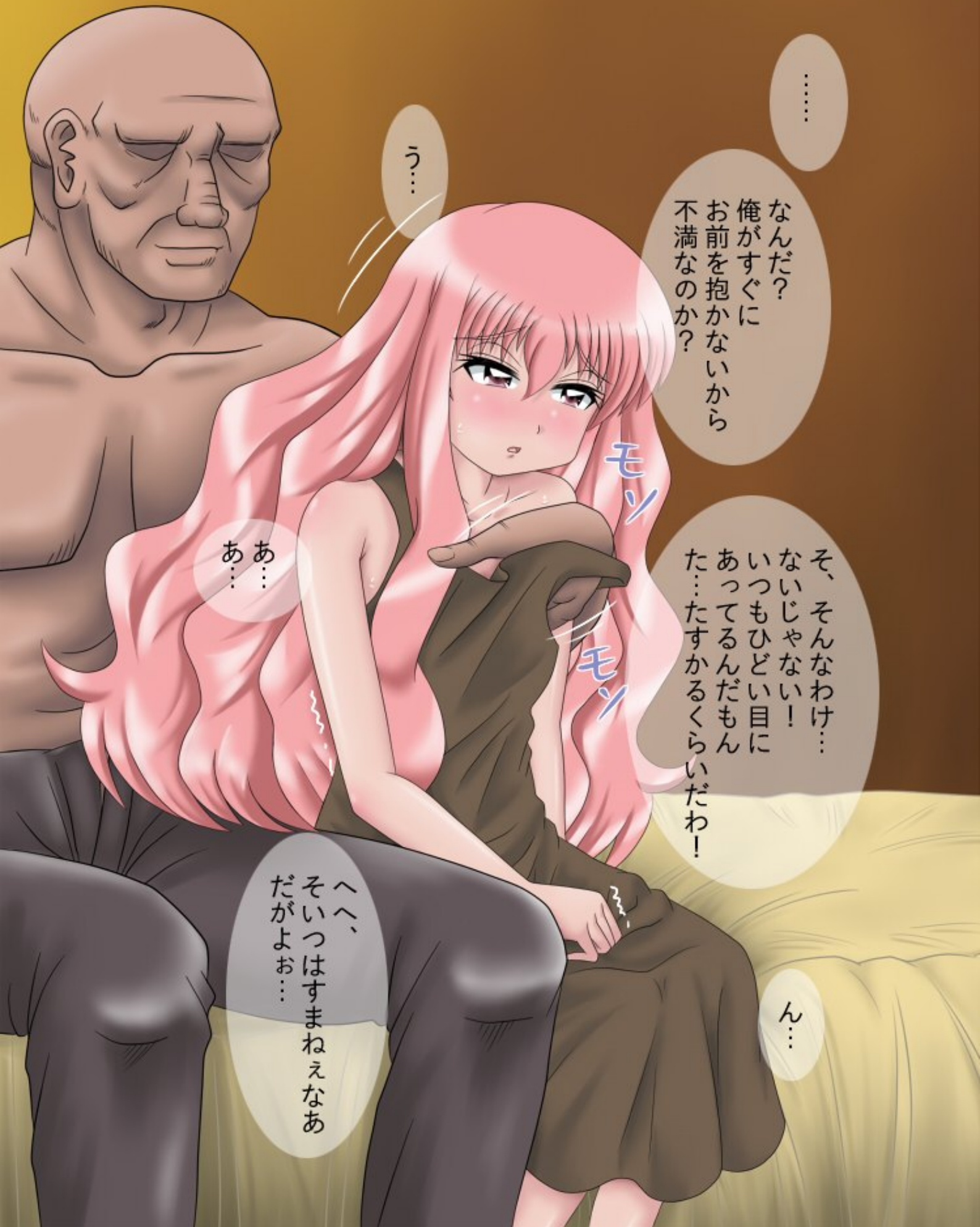
おいおい、
せっかく久しぶりに会ったんだ
今日はゆっくりしていこうぜ

え…
いつもはもっと…

ああ、
いつもはもっと
せっかちに
やっちまうからなあ、
今日は
ゆったりしよう
と思ってよ

そ、
そう…

な、なんなのよ！
いつもはもっと
ガーツ！
…ってくるのに！
わたしの
か…からだに
すぐガバツ！って
のしかかってくるのに！
……
もう、なんなのよ…



……

なんだ？
俺がすぐに
お前を抱かないから
不満なのか？

う……

ああ……

そ、そんなわけ……
ないじゃない！
いつもひどい目に
あってるんだもん
た……たすかるくらいだわ！

モン
モン

へへ、
そいつはすまねえなあ
だがよ……

ん……

酷い目にあってるってえ割には
お前の胸のサクランボは
もうすっかり硬くなってるぜ？

あ…
はああ…

ほら、
ピンピンだ！

うあ…

あ…あ…
そ、それはあんたが
さっきからわたしに
エッチなことばっか
するからだもん！
んん…

おいおい、
ありやちよっとした
挨拶みたいなもんだろ？
あの程度でこんなに
乳首をぷっくりカチカチに
しちまうのかよ



あ…
あ…

あううう…
だつてだつて…

くつくつく…
まあいいさ
それよりルイズ
会うなり乳首を
おっ勃たせ
股ぐらを
トロトロに濡らして
おまえ、
俺に何か
言いたい事が
あるんじゃないのか？

え…
う…
…
べ、別に
いいたいことなんて
ないわよ！
め、めんどろだから
さっさと済ませてって
ことだけよ！

そうかい
ま、それならそれで
いいけどよ
ヒヒヒ…

あっ
あっ
あっ



……

んん…
んむ…

あむう…
チュツ

ちゅぱっちゅぱっ
んん…

んん
んんう…

ああ…
はあ…

へへへ…
お前えの口を味わうのも
久しぶりだが
ムチュツ、ちゅぱちゅぱ…
相変わらず甘くて美味えぜ!

はあ…

んむう…

ちゅっちゅ…

はあはあ…
んちゅっ
ちゅっ…

ピチャ
びちやびちや

ちゅっ
ちゅっちゅっ

ズツ

ああ……
な、なんでこんな……
からだだが……からだかもう
熱くなってきちゃった……
いつもこんなすぐじや
ないのに……なんで……

はあはあ

んむ……

チュツチュツ

ああ……

んん……

あっあっ……

ピチャ
ピチャ
ピチャ

ぴちや

んっんっ

へちや

とと
とと
とと

にゅる
スル
スル

しゃぶ
しゃぶ
しゃぶ

あつぶ
チュパッ

チュツチュ
ちゆる
ちゆる

ぴちや
ぴちや
レロン

才人との
くちづけともちがう……
お店でする
お客さんとのキスとも
ちがう……
なんか……
なんかへん……



ああ...

ああ...
あうっ...
はあはあ...
あ...ん...

ちゅっ
ちゅっ

ちゅっちゅっちゅっ...
れるれるれる...
ルイズ、お前のフトモモは
大理石みてえに
ツヤツヤのスベスベだな！

ぺろぺろ...
いくら舐めても
しゃぶっても
少しも飽きないぜ

はあ...
はあ...

うう...

んん...

ブル

ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ

ブル

ちゅっ
ちゅっ

ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ

ぺろ
ぺろ
ぺろ



あぁ…
なんでフトモモばかり…
ううう…
いつもだったらまっさきに
あそこを…ペるペるって…
ペるペるペるって
するの…

わたしが
気をうしないそうに
なるほど
たくさんたくさん
くちつけてくるのに

…って、
わ、わたしってば
なにヘンなこと
考えてるのよ！
もう…！
なんで？なんで今日は
しないのよ！？

うう…
んっ
あぁ
はぁ…

あぁ…
はぁ…
んん…
あ…

キョパ
キョパ
キョパ
キョパ
キョパ
キョパ
キョパ
キョパ
キョパ
キョパ

あぁ…
はぁ…
あん…

ペちな
ペちよ
ペちな
ペちよ
ペちな
ペちよ
ペちな
ペちよ

んん
んん

フル

フル

フル

とろり

んん
んん



んん

うっ...

はあはあ

ちゅばちゅば
何だルイズ、
どうかしたか？

う...あ...
な、なんでもない！
なんでもないの！

へへ、
そうかい
そうかい
...

はあはあ

んん...

うっ

ちゅっ
ちゅっ

ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ

ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ

んん

ぱろりぱろり

ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ

ほら、
ポーっとしてないで
今度はこいつを
気持ち良くしてくれ

う、
うん…

スッ

ニギッ

おっと、口じゃねえ
お前のその細い指で
ゆっくりしごいて
くれりゃいいぜ

……
……
……
ああ…

おい
どうした？

…え？
あ、わ、わかったわ

ああ…

ああ…
わ、わたしが覚えてたのより
ずっとかたくて…
大きくて…あっつい…

ハア
ハア

ハッ

はあ…

ああ…

「ハッハッハッ」

モゾ
モゾ

クチュ

ああ…

こ、これが
今までなんども
わたしのお口を
いっぱいにした
あ、あそこから
おなかの中を
出たり…入ったり…
出たり…入ったり…
したのね…

ゴクリ…

はあはあ

…ルイズ、
えらく物欲しそうな目で
俺のチンポを睨んでるな
もう欲しいのか？

あ…
バ、バカな事
言わないでよ！
わたしは
情報と引き換えに…

仕方なく
俺に抱かれて
るんだろ？

そ、そうよ！
そうなんだから
か、勘違いしないでよね！

わかったわかった、
それじゃどーしても
辛抱堪らなくなったら
おねだりしな
上手くおねだりできたら
お前の望むものを
たっぷりくれてやるぜ！

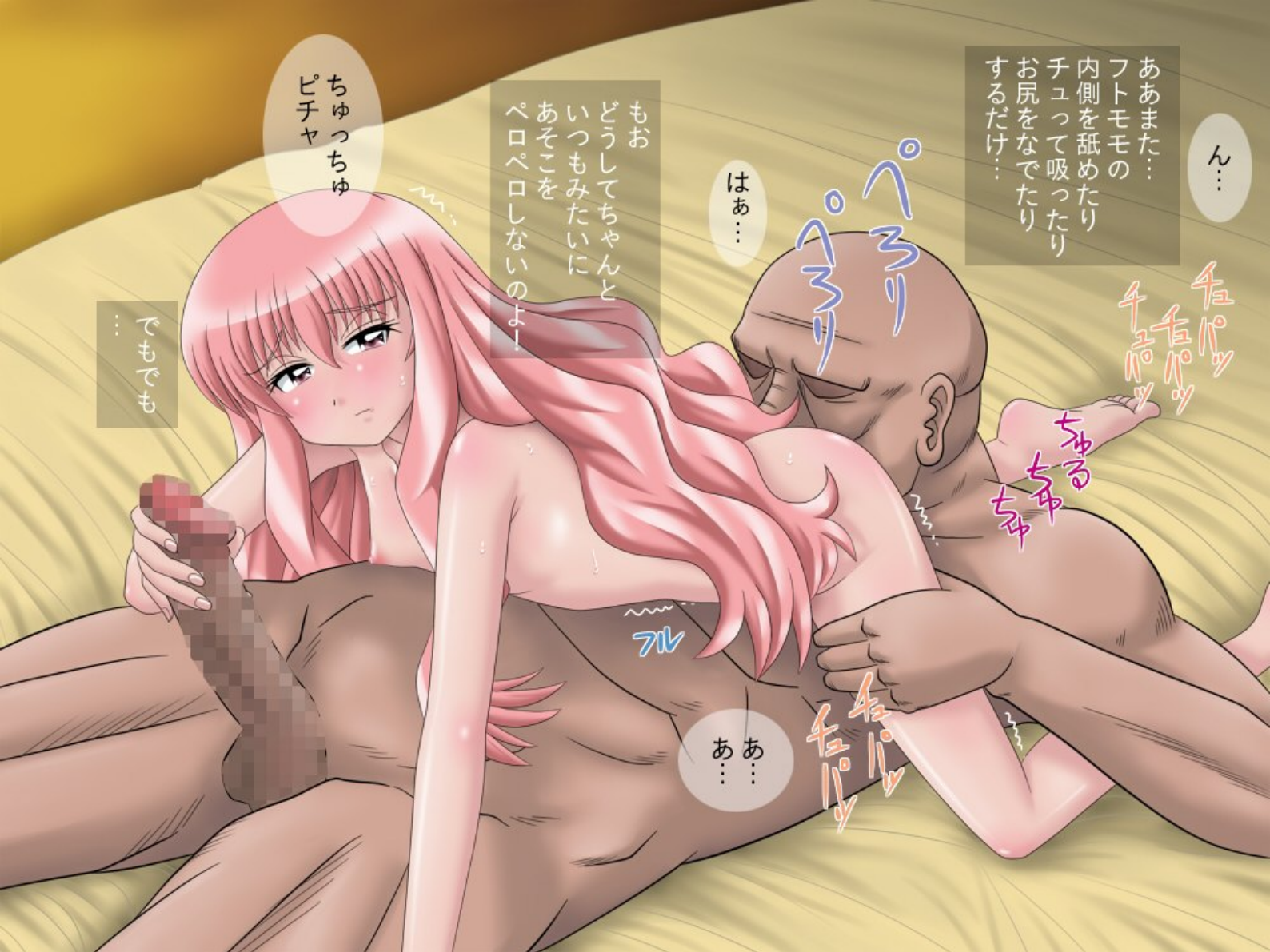
そ、そんなわけ…
そんなはしたない事
ヴァリエール家の娘が
するわけないじゃない！
ファンだっ！

へへへ…
さあ、
尻をこっちに向けな！

コン
コン
コン
コン
コン

ク
ク
ク

ハッ
ハッ



ああまた…
フトモモの
内側を舐めたり
チユって吸ったり
お尻をなでたり
するだけ…

ん…

はあ…

もお
どうしてちゃんと
いつもみたいに
あそこを
ペロペロしないのよ！

ちゅっちゅ
ピチャ

でもでも…

チュパッ
チュパッ
チュパッ

ちゅる
ちゅ
ちゅ

ぽろり
ぽろり
ぽろり

ブル

ああ…

チュパッ
チュパッ
チュパッ



はあはあ…

す、すごい
におい…
むせかえるような
すえたにおい…

はあ…
ああ…

ああ…

ひさしぶりにかぐ
このにおい…
ああ…
吸いこむたびに
頭の芯が
しびれてくる
みたい…

はあ…

へ…へんよう…
いつものわたしじゃ
ないみたい…
からだがあつい…

ちゅ
ちゅ
ちゅ

ぴゅ
ちゅ

ハア
ハア
ハア

カ
カ
カ
カ
カ
カ
カ
カ
カ
カ

ブル

ん…

はあ…
ああ…



あ…
あんたが…

ん？

あんたが
その…
く、口で
して欲しいって
いうなら…
あの…
してあげても
いいけど？

へへへ…
いや、今日は手で
やってくれりや
いいぜ

……

そ、そう…
それならいいけど…
……

ううう…
ううう…
せうー！

カキカキ
カキカキ
カキカキ
カキカキ

ブル
ブル

ブル

ちゅっ
ちゅっ

ちゅっ
ちゅっ

ブルブルブルブル

そーいやあルイズ、
お前
俺と会ってない間
どうしてたんだ？

ん…

どうしてたつて…
なにが？

へへへ…

とほけんなよ、
お前の身体には
俺がたっぷり
「男」を仕込んで
やったんだ

あ…

肉の美味さを
身体の芯から
知っちゃまった
「覚えてたの若い娘」
がよお、

半月も
何も無しで
その身が
タダで済む訳あ
ねえんだよ！

その間
どうしてたのか
って聞いてんだよ

……

ちゅっ
ちゅっ

ぺろ
ちゅぽ
ちゅぽ

ぽろ
ぽろ
ぽろ

コシコシ
コシコシ
コシコシ



我慢できなくなつて
使い魔にでも
ハメさせたか？
自分から
すがり付いて
いつもの調子で
腰を振りたくつた
んじゃないのか？

つ、使い魔とは…
才人とは
そんなんじや
ないもん！

よ…夜だつて
…その…
わたしの横で
すぐ寝ちゃうし
…

あっはっはっは！

男に抱かれたくて
股ぐらを
トロトロに熱くしてる
女の横で
ぐーぐー高いびきだつて？

まったく
情けねえ男だな！

…

キョキョ

ピョ
ピョ
ピョ



じゃあどうしてたんだ？
客をたらし込んで
抱かれてたか？

お客さんと
その…
「最後」までなんて
そんな…

へへへ、客とは
「手前」までかよ！

だって…お店でも
情報収集してるんだもん…
それに、今こんな事してる
あんたにはいわれたくない！

ちゅっ

ぽろぽろ

はう…

ああ…

ちゅっ

ん…

ブル

くっくっくっく

くっくっく…
そいつは違いねえ！



ってことはよ、
毎日店で客と
「手前」までやりあって
使い魔はお前を放っておいて
高いびきか

それじゃ
お前自身で
マンズリでもして
身体を鎮めねえと
どうにも
おさまらねえだろ？

あ…うう…
マ、マンズリ
って言い方は…

…
だって…だって…
からだがあつくなくて
指が…かっけてに…

へへへ
指が勝手に、か

舌ッ
舌ッ
舌ッ

んん…

舌ッ
舌ッ

ああ…

ひちや
ちゅら

はあはあ

ううう…

ククク
ククク
ククク



ひうっ!
あああ!

チユー
チユパチユパチ
ぴちやぴちや
れるれるれる
ちゅっちゅっ
ちゅっちゅ

あ!
あ!
ああ!

んんん!

あんっ!
はあああ!
な、なに?
き、急にそんな...
あんっ!
あ!

あああ! す、スゴイ!
こ、腰から下に
火がついたみたい!

はあはあはあ

んんん!
はああん!
あ! あ!

あうっ!

舌ッ
舌ッ

レロレロレロ

ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ

舌ッ
舌ッ

ビクッ



ルイズ
お前何考えながら
マンズリ
してたんだ？

あーう…
そ、そんなこと
いえるわけ…

俺に股の割れ目を
こんな風に舐められた…
ペロペロされた時の事を
思い出しながら
弄ってただろ？

え？え？
な、なんで…
あうっ！
はあはあ…
なんでわかるの？
ああ…

図星かよ！
良いぜルイズ、
俺とお前の相性は
やっぱり最高だ！

あんーあん！
ああ…

ああ…

はあはあ

ちゅっちゅっ

ピキキキ
ピキキキ
ピキキキ
ピキキキ
ピキキキ

ペロペロ
ペロペロ
ペロペロ
ペロペロ
ペロペロ



へへへ…
美味え！美味え！
ルイズ・
フランソワーズの
股間の蜜のお味は
堪えられねえな！

や、やだあ、
そんないいかた…
はあはあ…

俺の肉棒を
しごきながら
何言ってるやがる！
そいつもタツプリ
ズリネタに
してたんだろ？

ううう…
そんな…

ほら、
今その実物が
目の前にあるぞ！

上手くおねだり出来たら
そいつをお前の好きなようにして
いいんだぜ

ピキキキ
ピキキキ

ちゅるちゅる

チュッ
チュッ

ぐぐぐ

ちゅる

あ！あ！

ん！

はあはあ

お：ねだり…？
おねだりって…
ううう…



わ…わたし…
毎晩コレのこと
思い出してた…
いつも頭の中で
コレをお口やあそこ
してた時のこと…
思い出してたわ…

お口いっぱい
ほおぼって
のどの奥ふかくまで
むりやり押し込まれて
すごくくるしいけど
でも……

でもおねだりなんて
はしたない！
わたし貴族なのに！
公爵家令嬢なのに！

ああ…熱い…
それにとってもかたい…
ビクビクって
みやくうって…

舌パ舌パ

舌パ舌パ

はじめてうばわれたとき
すごくいたかったけど…
たくさん泣いちゃったけど…
何回も呼びだされてるうちに
どんどん気持ちよくなつて
はじめてコレでイッたときは
最後に気を失っちゃった…
そ、そう…
あそこに出たり入ったりして
上とか奥とか中とか
入り口のまわりとかを
コレでいっぱいこすられると
わたし…わたし…

その…
何人かのお客さんのを
さわった…
さわらせられたけど
やっぱりコレが…
相性ってさっき
言ってたわね…

才人のほ
どんなかしら？
でもやっぱり
コレのほうが…

はあ…
はあ…
はあ…
はあ…
はあ…
ん…

わたし…
わたし…
コレが…
あああ…





これ？
へっへっへ…
これじゃ
わからないぞ
もっとハッキリ
ナニをどう
したいのか
言ってくれ！

こ、コレを…
あんたのコレを…

はあ…

…
あ、あんたの
その…
お、
おちんちんを…
んと…
わたし…
わたしに

あー！
そうじゃねえ！
上手く
おねだり
出来たらって
言っただろ？

はあ…

ううう…
だってわたし、
こ、こんなこと
おねだりしたこと
ないんだもん…

ああ…

フル

フル

ああ…

…
いいか、こう言うんだ
…
ポソポソポソ



!!
そ、そんな!
はしたないわ!
こ、公爵家の娘が
そんな...

おいおい、
人のブツを握りながら
割れ目はおろか
ケツメドまで晒しながら
何言ってるんだよ!

さあ、
言うのか
言わねえのか!
もちろん言わねえなら
今日はここまでだぜ!

え!?
こ、ここまでって
そんな...

ブル

ブル

うんうん...
うんうん...
うんうん...

はしたない！
はしたない！はしたない！
わたしたたら
あんなこと言って…

ああ…でも
やっと…やっと
コレを…
チ…チンポを…

はあ

はあ

ブル

ああ…

はあ

はあ…

んん…

ああ…

はあ…

ああ…凄いいにおい…
それにあっついのおい…
キスが…キスをするクチビルが
焼けちやいそうなくらい熱いの…

はあ

んん

はあ

はあ
ん

んん
んん
んん

んん

はあ

んん
んん
んん

ん

ん

はあ

んん

れる…

んんん…
こ…この味…
このかんしよく…
舌のさきが熱くて
やけどしちやいそう…

はっはっはっ
はっはっはっ
はっはっはっ

んんん…
んんん…
んんん…

んんん…

ん…

ああ…わたし…
男のモノを…チ、チンポを
ねだって、キスして、舐めてるのね…
ヴァリエール家三女のわたしが…

……でも

ん…

ん!

んんん…
んんん…
んんん…

はっはっはっ
はっはっはっ
はっはっはっ

んんん…
んんん…
んんん…

んんん…
んんん…
んんん…

んんん…
んんん…
んんん…

……！
なに？……え？

す……凄い……凄い！
口の中
ぜんたいで感じる！

んん…
むぐっ…

味？……きもちの良い味？
これおいしいの？
わたし…チンポおいしいの…？

んん…

チンポを口から
出し入れするたび
わたしのからだのなかに
熱のかたまりが
くべられていくみたい…

お口でなら
今までなんかいも
してるのに
ぜんぜんちがう
……

んん…

んん…

むちゅむちゅ

なんで？
なんで…？

んん…
んん…

んん…
んん…
んん…

んむ…

熱い…
口が…ノドが…
頭が…
どんだん
熱くなる…

ん…

オツオツ…
へへへ
今日はやけに
激しいな!

そんなに
おしゃぶり
したかったのか?
味の方はどうだ

んん!

じゅぷっ
ぶぷっ…んぐっ
お…おひひ…い

ん…

んん…
んぐっ…
あっぷ…

んん
んん

んん
んん
んん

れろ…

へへへ…
悪い娘だなルイズ
口にモノを入れたまま
喋るなって
親に舐けられ
なかったのか?

ぴちやぴちや

ん!

ひやぶっ…ふぱっ…
んぷっ…お…おいひい…
おいひいの…
チンポお…おいひいの…

へえろぺえろ

んん
んん
んん

んん
んん
んん

わ…わたし
なに言ってるの…！？
でも…こ、こんなかんじ…

ん…

ん…

あまの
じゅる
ピキッ
ピキッ
ピキッ

ピキッ
ピキッ
ピキッ

くっちや
ちゅっぱっ

こんなかんじ…はじめてなの…
口が…舌が…
おしゃぶりするたび
きもち良くなっておいしいの…

れる…

ピキッ

クキッ

ピキッ
ピキッ
ピキッ
ピキッ
ピキッ
ピキッ

良いぞルイズ
良い感じだ！
こっちもサービス
してやるから
お前も好きなだけ
おしゃぶり
しな！

んむ…

ゴッ
ゴッ

んんんんん

ピキッ
ピキッ
ピキッ

うん…
うん…
ん…
あむうう…

いくらズリネタに
してたからって
長々としやぶり過ぎだ！
チンポがふやけ
ちまうぜ！

あ…
あ…

へへへ…
すっかりトロンとした
表情しやがって
次は下の口の方で
おしやぶりしてえだろ？

はあ…
はあ…

壺の中身は
熱々のドロドロ、
具のこなれ具合も
良い感じだぜ！

ああ…
はあはあはあ…

はあ…

ああ…

はあはあ



はあはあ

ああ…やっと…
やっといつもみたく…
はやく…
はやくちようだい…

はあはあ

ああ…

…って
な…なに？
からだが…
熱くなってきて…
…ああ、わたし変…
あたまがぼーっと
してきた…
腰の内側から甘かゆい…
ううん、「うずき」が
あふれ出してくる…
とまんない…ああ…

フル

フル

はあはあ

さあ、こいつが
欲しいなら
さつきみたいに
おねだりしてみな！
うまくねだれたら
お前の望むとおり
犯してやるぜ！

うう…

ハァ
ハァ

ハァ
ハァ

はあ…

はあ…

はあはあ…

ああ…

仕方ないわよね…
じよ、情報のためだもん
姫さまのためにわたし
しかたなくするんだもん
…おねだり…おねだり…

はあ…



ああ…

ハアハアハア…
そ、それ…
はやく…はやく…
ほしいの…
ずっと…ずっとまっていたの…
あああ…はやく…

はあはあ

へへへ…
そんなおねだりじゃ
こいつはやれねえなあ

ああ…

ブル

そ…そんな…
いじわるしないで…
ううう…
はやく…はやく…
はあはあはあ…

くしゃ
くしゃ
おる

くしゃ
くしゃ

おち

おち

ブル

グッ



はあはあ

あ…
あ…

ほおれ、こいつも
お前のドロドロの壺の中に
帰らせて言って言ってるぜ
早く潜り込ませてやってくれよ
くっくっく…

ああ…
ああ…

ああ!
はやく…はやくう…
なんで?なんでなの!?
いつもはすぐくれるのに!
あとちよつとなのに!
ああ…

はあはあ…

ハア
ハア

にやる
にやる

せい
いっ
んん

熱い……!
腰が……お尻が……からだ中が……頭が……
熱くて……重いのが
燃えるように熱いんじゃないやなくて
生焼けみたいにくすぶってる
かんじなの……

はあはあはあ

おかしい……おかしいの……
ああ……わたし情報のために
仕方なく抱かれてたはずなのに……
今まで自分からすすんでなんて
したことないのに!
姫さまをお助けする任務だって……
こんな……こんなふうになんて
気持ちよくなるためになんて
考えた事なかったのに!

はあ……
はあ……

ああ……始祖ブリミル……
かあさま……姫さま……
わたし貴族が……メイジが……
情報……が……ううう……
ああああ!
だめ!
もうがまんできない!

ずっと……ずっと
がまんしたのに!
何日も何日もまっていたのに!
熱いの!もうためなの!
かあさま!才人!
たすけて!

はあはあ……

はあはあはあ

はあはあ

ブル

ブル



ああ…

はあはあはあ…
あああ…!!
も…もうだめ!

はあ…

はあ…

はあはあ

はあはあはあ

はあはあはあ

ギリ

ギリ

くちゅ

ぬる

ぴゅ

チンポ!
チンポちようだい!
はやく!
そのまま!そのまま…!!

へへへ…
ルイズフランソワーズよお、
公爵家の令嬢ともあるう
もんが、チンポチンポと…

ああ…

あああ…お願い!
な…なるから!
なるから…

フル

フル

ん?

あんたの…
あんたの女になるから!
はやく…はやくう!
ううう!

ハ

ハ
ハ

へへへ…
あっはっはっは！

じゅわん
じゅわん
じゅわん

とろり
とろり

グイッ

ルイズ、
お前の方から
俺の女にしてくれ、か！

…だがなあ、
お前は「情報」と
引き換えに
仕方なく
俺に抱かれてるんだろ？

「酷い目にあってる」
のに俺の女にしてくれ
ってのは
おかしくないか？

あ…あ…

はあ…

うう…

あああ…
いいの…
いいの…
だからはやく…
熱いの…うう…
ち…ちんぽ…
ちんぽ
ちようだい！

そうか
そんなに俺の女に
なりてえか…



そんな
俺の女になっ
て
こいつで...

あああ...!

たっぷり
ハメられてえのか

んんん！
そ...それ！
そのまま！
そのままはやく...

凄え凄え、
ひしゃげた割れ目の奥底から
蜜の熱々のやつが
溢れ出して止まらねえ！
...それじゃそろそろ

あ...!

ああ...!

はあはあ
はあ...

フル

フル

フル

フル



…と、
行きてえところだが

はああああん…

へっへっへ…
こいつはまだ
くれてやれないぜ!

あ…
はああ…

ルイズ、
お前が飼ってる
使い魔の小僧、
あいつと別れられるか？
捨てられるか？

はあ…はあ…はあ…

はあ…はあ…はあ…

ああ…
ああ…

…は…へ？
っ…使い魔…
才人？…才人は…
別れる？才人と？
そ…そんな…
あああ…

クチャ

ヌル

ピチャ

クチュル

ちゅるんっ

ビクッ

ハア
ハア

ハア

ブル

ブル

ブル



んん!

はあはあ

うっうっ...

あっあっ

あー!!
あー!!
あー!!

はあはあ

フル

あーあ!

んんん...

はあはあはあ

わ...別れる...
別れる...?
才人とわたしが...?
そんな...
そんなこと...

あっ! あっ! あっ!
あああ...
熱い...腰の内側から
熱いのがいっぱいくる...
あつくて...せつなくて...
おなかも...あたまも...
どおかなっちゃう...

フル

フル

ハア

ハア

スリスリスリ

ヌルヌル

くちゅ

くちゅ

くちゅ

くちゅ

ずっ

ずっ

ずっ



はあ...

ああ...

ハア

わたし...
いっばい いっばい
がまんしたの...
がまんしたけど...もう
...もう...あああ!
いやああ!

はあ...

ハア

ハア

はあ...

はあ...

ああ...

ハア

才人...
才人...ああ...
ゴ...ゴメンネ...
ゴメンネ...

グチャ

グチャ

グチャ



はあ…
はあ…

あ…

ん…

ん…

はあ…

あ…

ああ…
才人…
なんで…
なんでできてくれなかったの…？
わたし…
わたし…
わたし待ってたのに…
いつでも良かったのに…
あんたさえその気ならわたし
いつだって…

あんたが…
あんたがわたしを
奪ってくれてたら…
抱いてくれてたら…
こんな…こんな…ああ…

はあ…
はあ…

あ…

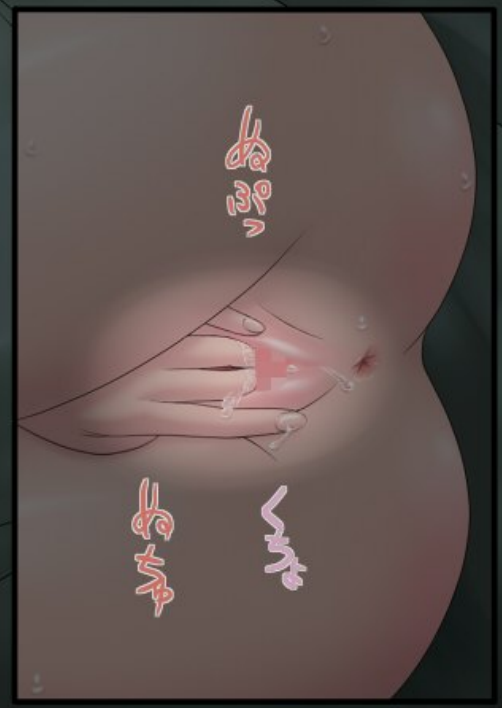
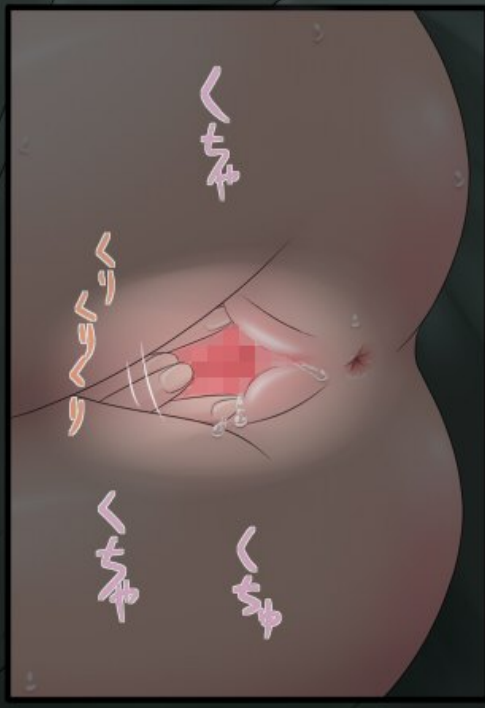
ん…

ん…

はあ…

あ…

才人…あんたはくれないけど
この人…くれるっていうの…
わたしの欲しいもの
いっぱいくれるって…
だからあげなくちゃ…
わたしもこの人の欲しいもの
あげなくちゃいけないの…
ゴメンネ…ゴメンネ才人…





フル

フル

フル

フル

う...

はあ...

はあはあ

はあ...

はあ...

ああ...
はやく...
はやく...
あ...あ...
あ...

ああ...
わたしも...
ため...
才人...
もうだめ...

くちゅ
くちゅ

スリ
スリ
スリ

スリ
スリ
スリ

ずっ

ずっ

ずっ

へへへ…
さあルイズ、
どうするんだ？

あ…
あ…
わ…わたし…

わ…わかれ…る…
ああ…
わかる…
…わかるから
はやく…おねがい…

ブリミルに
誓えるか？

ち…ちかうう…
ブリミルにちかかって
才人とわかれて…
うう…あ…
あんたの女に
なるから…

あっはっはっは！
いいぜ！入れてやる！
ルイズ、神かけて
たった今から
お前は俺の女だ！

うん…
うん…
はあはあ

チュポッ

ヌルヌルヌル

クチャ

ぐりり

あ…

ああ…

ブル

ブル

ブル

ブル

ブル

ハア

ハア

ハア

ハア

さあ行くぞ
行くぞ!

ずぶっ
クチュ

ズズズ

とろり

あぁあ

はぁ…

はぁ…

お待ちかねのこイツを
思う存分ほおぱりな!

はぁ…はぁ…はぁ…

ブル

ブル

ブル

ブル

ブル

あぁ…
あぁ…

はぁあぁあぁっ!

ハア
ハア

ハア
ハア
ハア





はああああっつ!

それ!

ビクッ

はあうっ!
はっ!

あああ...

んんん...

ビクッ

あ...
あ...
あはっ...

ハハ

ビクッ

ブル

ズル
ズル
ズル

ズルズルズル

クク

ググ

ググ

はあ！はあ！
はあ！はあ！

はあ…はあ…はあ…

は…はふっ…
う…う…
ああ…

ああ…こしがしびれて
ち…力が入らない…
ううう…わたし…
どうかしちやっただの…？

はあ…

あああ！
はあはあはあ…

あ…あ…あ…
あああ…んん…
す…す…
これ…ああ…
これ…ほしかった…
あああ…やっとなん…
んん…やっとなん…
…おぼえてる…
わたしのからだ…
お、思い出してきた…
じわじわって…

はあ…

はあはあ…
はあはあ…

あうう！
はあはあはあ

はあはあ…

ああはあ…

ぐり

ぐり

ぐり

ぐり

ぐり

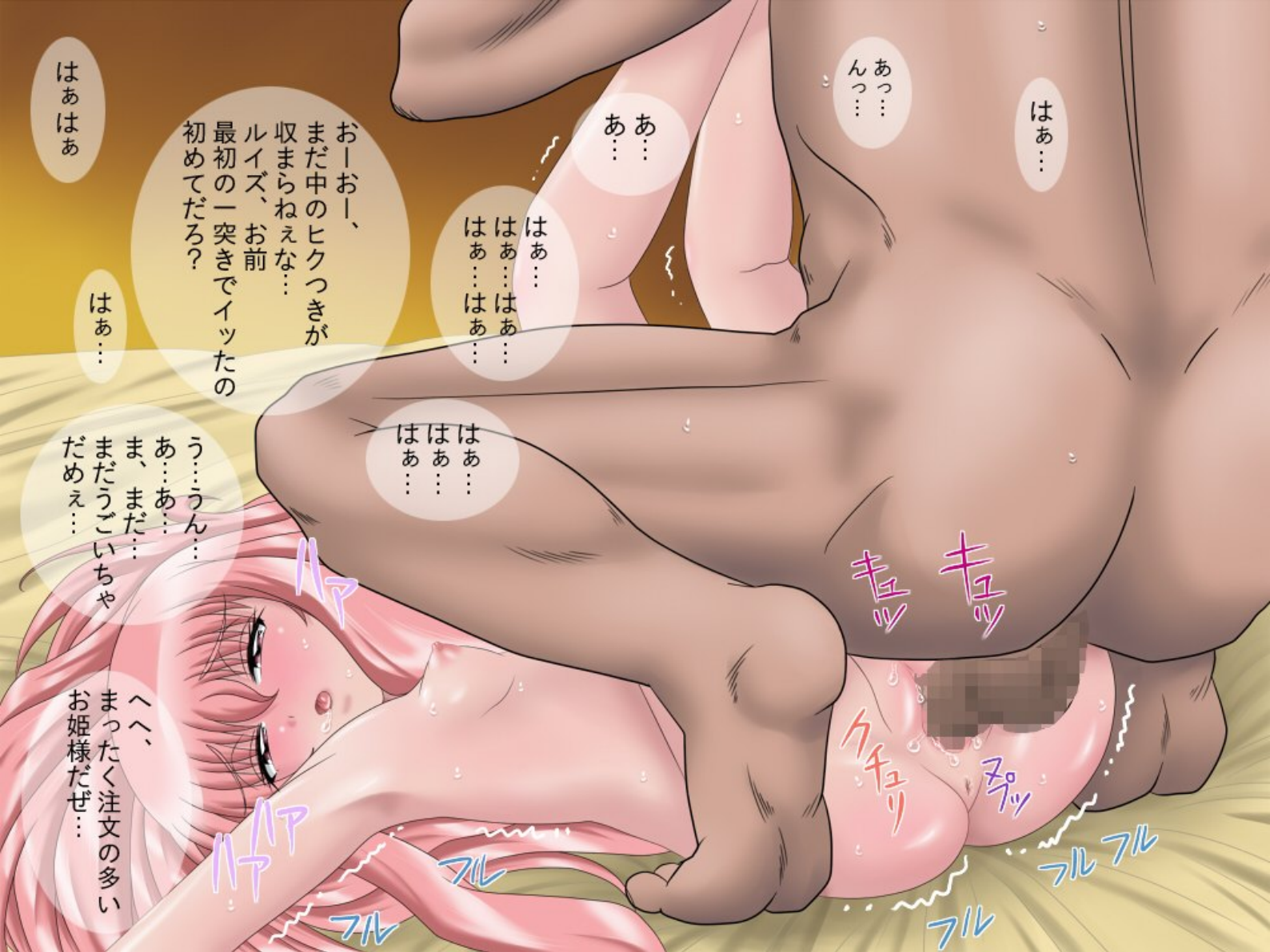
ハア

ハア

ハア

ハア

ブル



はあ…

あつ…
んっ…

ああ…

はあ…
はあ…はあ…
はあ…はあ…

おーおー、
まだ中のヒクつきが
収まらねえな…
ルイズ、お前
最初の一突きでイッたの
初めてだろ？

はあはあ

はあ…

はあ…
はあ…
はあ…

う…うん…
あ…あ…
ま、まだ…
まだうごいちゃ
だめえ…

へへ、
まったく注文の多い
お姫様だぜ…

ハア
ハア
ハア

キュッ
キュッ

クチュッ

ズッ

ブル
ブル

ブルブル

ブル



はあ...

そろそろ
いいだろう
抜いてみるぞ

あうう...
ああ...

へへへ...
今日は特に
ねっとり
良い具合に
絡みつくぜ!

あ...あ...あ...
あはあ...

おー!
吸い付く吸い付く

あああ...
出ちやう...
ニユルツと...
めくれて...
ああ...

ググッ

ぐにゅぐにゅ

ニヤハ

ククリ

ブルブル

ひひ



ずぶん

ジュググ

ぬるん

ググ

ビクッ

よっと!

あんっっ!
ああ!

あ!あ!

よっ!よっ!
奥を叩くと
入り口が
キュッキュと
締まるな!

あー!
あー!
中に入ってる!
チンポ...チンポ
熱い...熱いの...
はあはあはあ...

ああ...
お前ん中も
たいがいだぜ!
大鍋で煮た
蜂蜜みてえだ!

ハア
ハア
ハア

ブル

ビクッ

俺の方が
辛抱堪らなくなってきた！
いくぞ！

はあはあ…
う、うん…

はあはあ

へへへ…
毎晩マンズリ
しながら
コイツの事を
待ってたんだろ？
ルイズ
股ぐら全体で
たっぷりと
しゃぶりつくせよ！

あっあっ…

うん…うん…
ちようだい…
いっばいちようだい…
ほしい…ああ…

はあ…

はあはあはあ
…あ！あ！

ああ
…

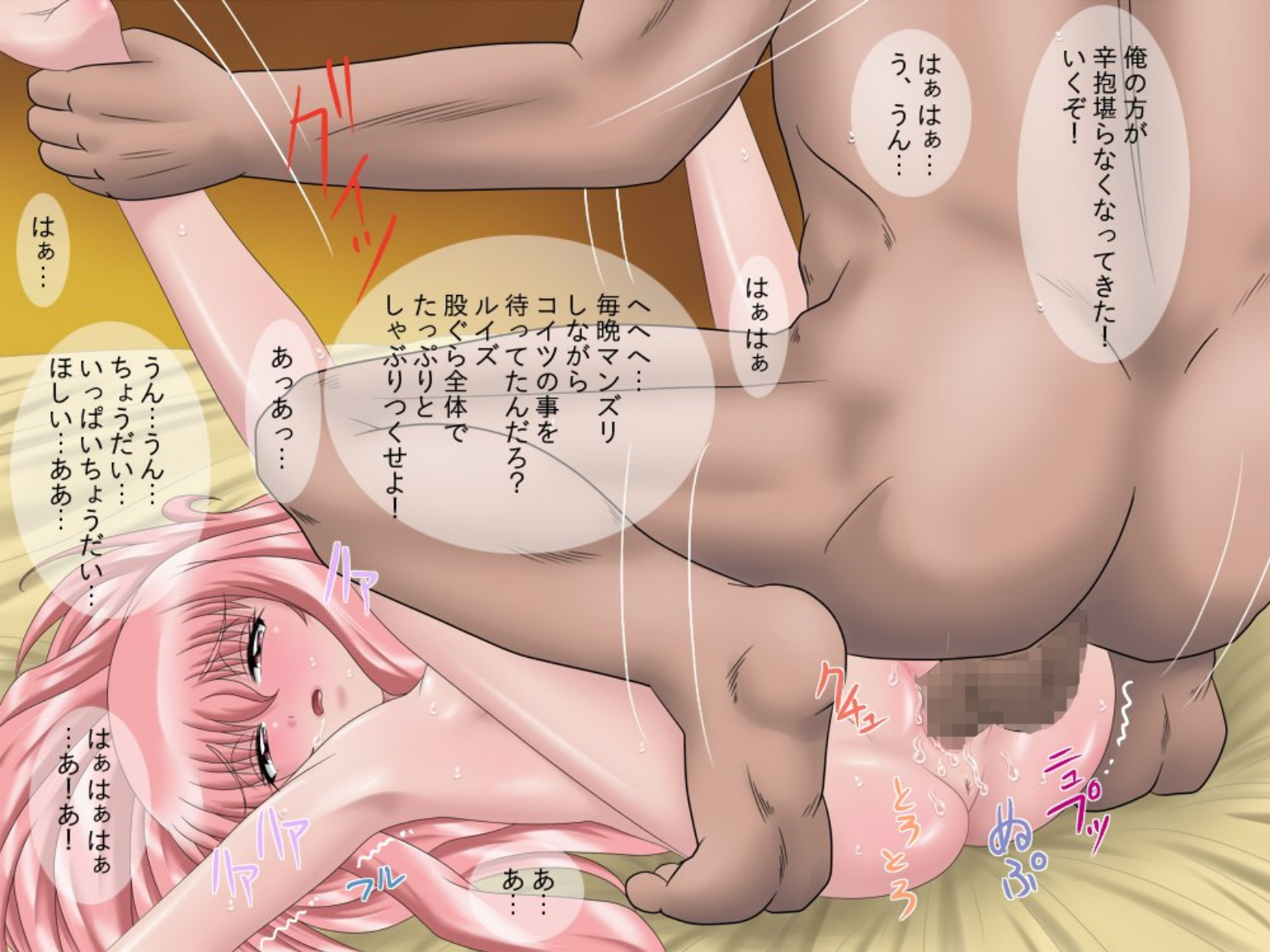
ハア
フル

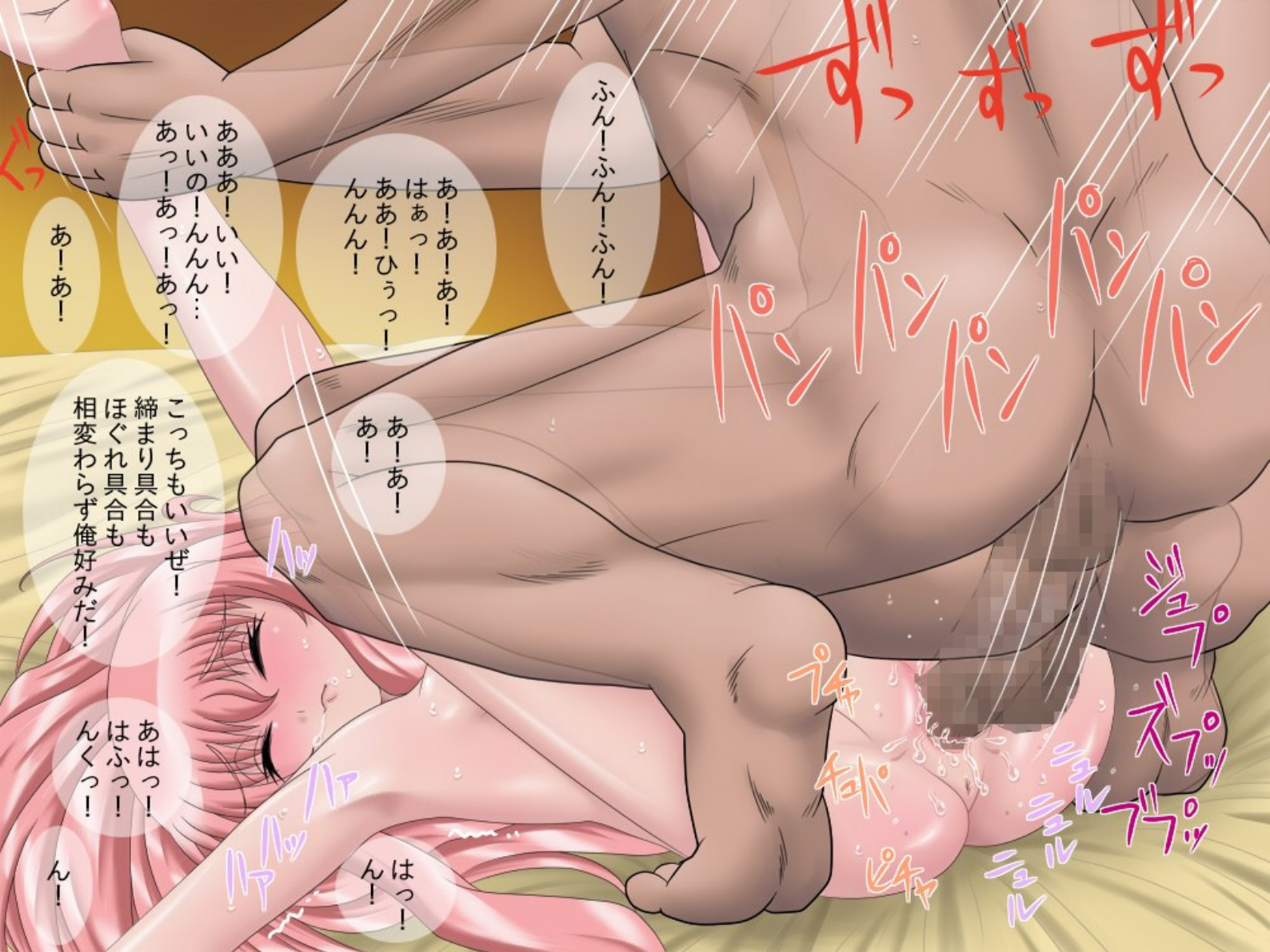
ハキュ

とうとう

ぬふ

ニョッ





ふん!ふん!ふん!

あ!あ!あ!
はあっ!
ああ!ひうっ!
んん!

あああ!いい!
いいの!んんん...
あっ!あっ!あっ!

あ!あ!

あ!あ!
あ!

こっちもいいぜ!
締めり具合も
ほぐれ具合も
相変わらず俺好みだ!

あはっ!
はふっ!
んくっ!

ん!

んはっ!
ん!

うん

ん

ん

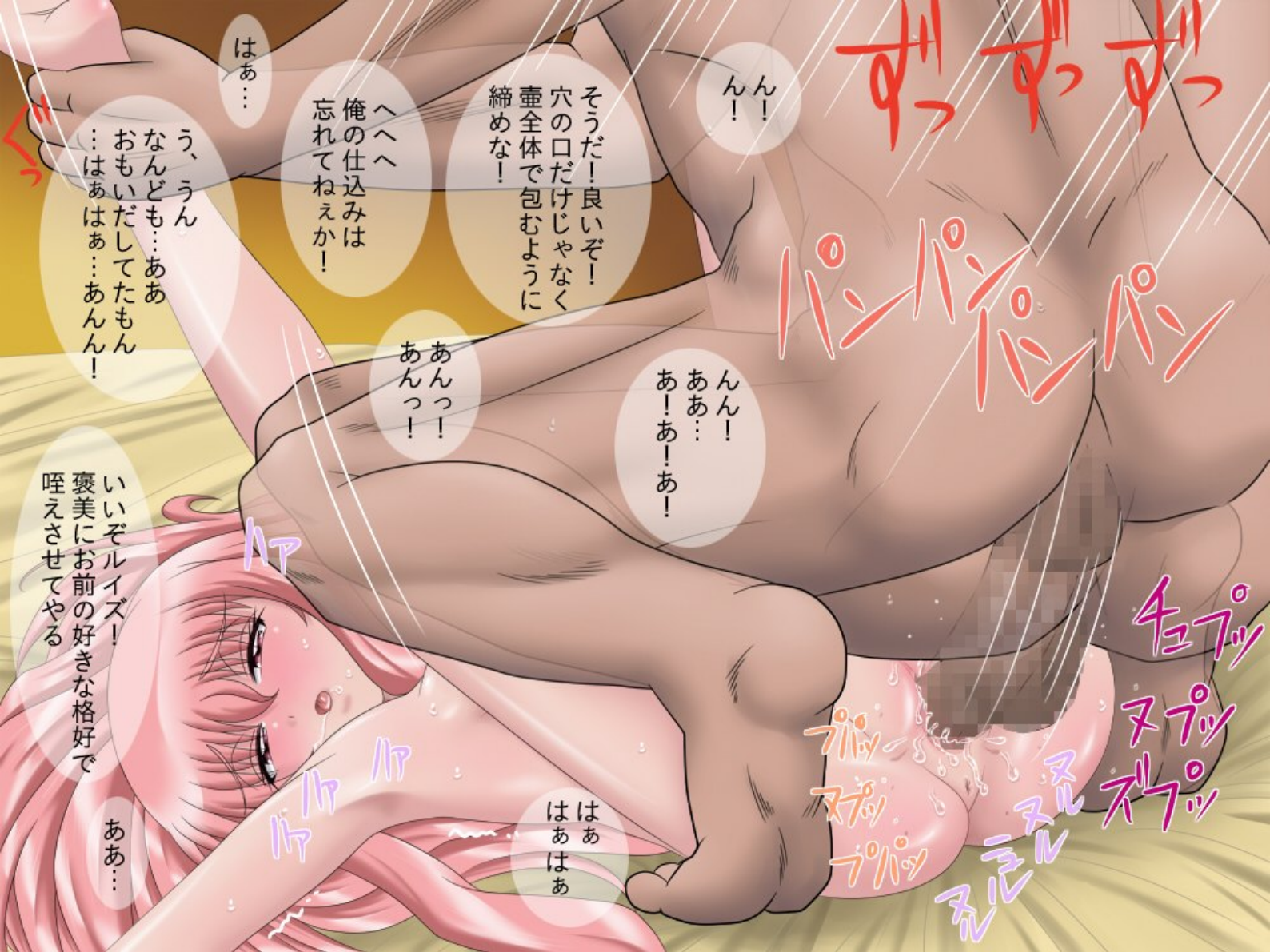
ん

ん

ん

ん

ん



あーあーあー

んん！

そうだ！良いぞ！
穴の口だけじゃなく
壺全体で包むように
締めな！

へへへ
俺の仕込みは
忘れてねえか！

はあ…

う、うん
なんども…ああ
おもいだしてたもん
…はあはあ…あんん！

んん！
ああ…
あ！あ！あ！

あんっ！
あんっ！

いいぞルイズ！
褒美にお前の好きな格好で
啜えさせてやる

ああ…

はあ
はあ
はあ

パンパンパン

キュッ
ヌッ
ズッ
ズッ

プッ
ヌッ
プッ
ヌッ
ズッ
ズッ

ハア
ハア
ハア

ん…んふううー…
ああん!
あああ…

ああ…

ああああ…
はいった…
はいっっちゃった…
いっばい…
いっばい…
ああ…
覚えてたのより
大きくてかたくて
熱いみたい…
ううう…
つぶれちゃう…
奥が…奥が…

はあはあ

へっへっへ、
美味そうに
パクリと一飲み
しやがったな!

うん…うん…
コレ…
これほしかったの…
ああ…

はあ…

あっあっ…

きゅっきゅと
締め付けて
壺全体で
カリや竿の形を
確かめてやがる!
ほら、
好きなように動いて
味の方も確かめな!

くわ

ズルッ

ハハ

ブル

ニユル
ちゅん

あーあ！
あーん！
あーあ！はっ！

はっ！
はっ！
はっ！
はっ！
はっ！
はっ！

はああっ！
ここ！
ここよう！
んんううう！

あーあ！あー！
ん！ん！ん！
はっ！はっ！
ふううん！

はっ！
はっ！

さっそく好物を
見つけたか

はっ！
はっ！

うん！うん！
ここ！ここなの！
あああ！指だけじゃ
だ！だ！だめなの！
ああ！ああ！

あーあ！

ぽんぽん
ぽんぽん
ぽんぽん
ぽんぽん

あん
あん

あ！
あ！
あ！

はあ
はあ



ふっ！ふっ！
あう！あう！
はっはっはっ
あー
あー

はあはあ
はあはあ
……

チンポの…あたまが…
かたくて熱いあたまが…
わたしの中に入れてくるう…
ここ…ここをこう…
つぶすみたいに押し込んで…
ああ…笠が…
ひき抜くときに
でっばったチンポの笠が…
へラでこそぐみたいに
くすぐっていくの…

ああ！はあっ！
あんっ！あんっ！

はっ！
はっ！

はっ！
はっ！

んん！
んん！

ポ
ク
ヌ
ズ
ズ
ズ

はあ…
はあ…
うん…
うん…

お尻をもちあげて…
腰をちょっとひねりながら
落として…またもちあげて
…ああ…とまんない…
かってに…
かってにうごいちゃう…
ああ…

ああああ！
ちよ、ちよっと！
んんん…！
き、きゆうに…
なにを…
はああ…

へへ、
お楽しみのとこ
悪いなルイズ、だがよ
お前えの腰使いは
どうも単調でいけねえ

あうっ！
あうっ！
んん！

あー！
あー！！
中！中が…かき…
かきまわされるう！
ぐにゅって…
ぐにゅって…

はうっ！
はあ！

んんん！

はん…
あん！

チュク
チュク
チュク

パッ
パッ
パッ

ブル
ブル
ブル

はあ
はあ…

あうっ！

股で舟の
「ろ」を
漕ぐみてえに
腰を動かすんだ！
ほおれ！
ほおれ！



ふっ！ふう！
はっ！あんっ！
あ！あ！あ！
イイ…イイ…
んん…

まあ、
まだまだぎこちねえが
これから回数を
こなしていきや
貴族専門の高級娼婦にも
負けねえ腰使いを
身に着けられるぜ！

はあ…

はっ！
んん！
はあはあ
…

や、やだあ…
そ…そんな…
わたし…わたし…
娼婦なんかじゃ…
んん…

はあはあ

はっはっ

あ！
あ！
あ！あ！

あんっ！
ああ！

はあ…



グッ
グッ
グッ

グッ
グッ
グッ

グッ
グッ

グッ
グッ
グッ
グッ
グッ
グッ
グッ
グッ
グッ
グッ

ハッハッハッハッ

グッ
グッ
グッ
グッ
グッ
グッ
グッ
グッ
グッ
グッ

くっくくく…
なんてまあ
浅ましい
腰の振り方だ！
売春宿の
踊り子だって
もうちよっと
上品だぜ！

んん！

ん！

ああ！ああ！
はあ！はあ！

はっはっ
んっんっ…

あ！あ！
あ！あ！

はあ…
はあ…

だって…だって…
ずっと…ずっと…
したかった…
はあはあはあ…
あんたのコレ…ううう…
こうやって…このことか…
ううんん…
こっちとか…
あ！あ！あ！でも…
でも…指じやたらなくて…
あああ！やっぱり
コレが…ん！ん！ん！

へへへ、
わかったわかった
それじゃ今度は
そっちに横になりな



ずずず
ずずず
ハハハ
ハハハ
ハハハ
ハハハ

プチャ
ヌキ
ポキ
グキ
グキ
グキ

パキ
イパキ



はんっ！
あんっ！
あつく！
んつく！

あー！あー！
あー！あー！

あ！あ！
あ！あ！
あ！あ！

あ！あ！あ！
んん！
すこ…ああ！
すこい！
うん！うん！
う！う！はあ！

そら！そら！
ふんっ！ふんっ！
ふんっ！

はあはあ

はあ
はあ

はあ！ひい！
あぐっ！
あ！あ！

あ…熱い…
からだか…
やけちゃう…

あっ…

ガッ
ゲッ

アッ
アッ

ん
ん

ズッ
ズッ
ズッ

じゅ
じゅ
ちゅ
ちゅ

パッ
パッ
パッ

パッ
パッ
パッ

ズッ
ズッ
ズッ

ズッ
ズッ
ズッ

ズッ
ズッ
ズッ

あーあーあー!
あうあう…
はあはあはあ
……

はあはあはあ…
まぜてる…
おなか…ぐるぐるって
はあはあはあ…

おー、おー、
今日はいつももまして
蜜が溢れてくるな
最初からトロトロだった
もうドロドロのビチャビチャ
おもしろしてみたみたいぞ!

はあはあ

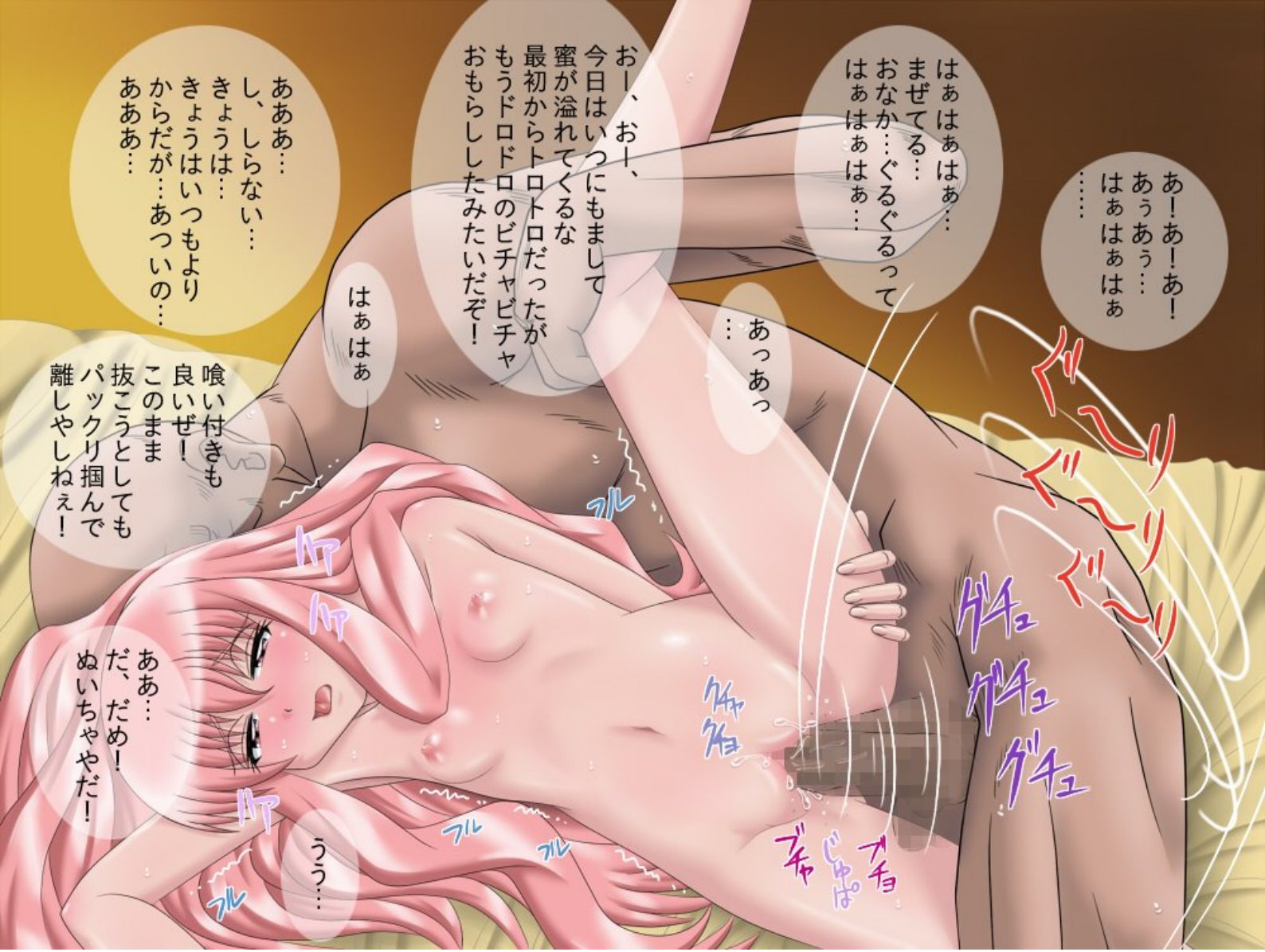
あっあっ
…

あああ…
し、しらない…
きょうは…
きょうはいつもより
からだが…あつい…
あああ…

喰い付きも
良いぜ!
このまま
抜こうとしても
パツクリ掴んで
離しやしねえ!

ああ…
だ、だめ!
ぬいちゃだ!

うう…



ふううん!
ああん!

へへへ、
抜こうとすりや引き戻すし
挿し込むと絡みつく
ルイズ、本当にお前は
最高だ!

ば、ばかあ!
へ、ヘンなこと
…んん!
ほめないですよ!
あっあっあっ!

おっと、俺は
本気で褒めてるんだぜ?
昨日のアイツも
お前の肉壺を味わえなくて
心の底から無念だろうな

はあはあはあ…
き、昨日の
アイツって…
あ!あ!…

はあはあ

いただる?
昨日のお前の
三人目の哀れな客
忘れたのか?

ううう…
な…なんの…
ああ…、んん?
……

ああ…



おらおら！
どうだ、
コレで少しは
思い出したか？

あいつ、
店にいるときも
酒も飲まずに
マントに隠れて
お前の乳首ばかり
イタズラして
やがったなあ

こ…紺のマントの人？
あの人なら
…ああ…そこ…んん
い、いつもたかいお酒を
たのんでくれる…から
ス…スカロン店長が
サービスしてやれって…
あっ！…はあはあはあ…
た、たまに情報も
くれるし…うう…

あああ！
おなか…えぐれるう！
おなかやぶけちゃう！
す…すごい！
あっ！あっ！あっ！

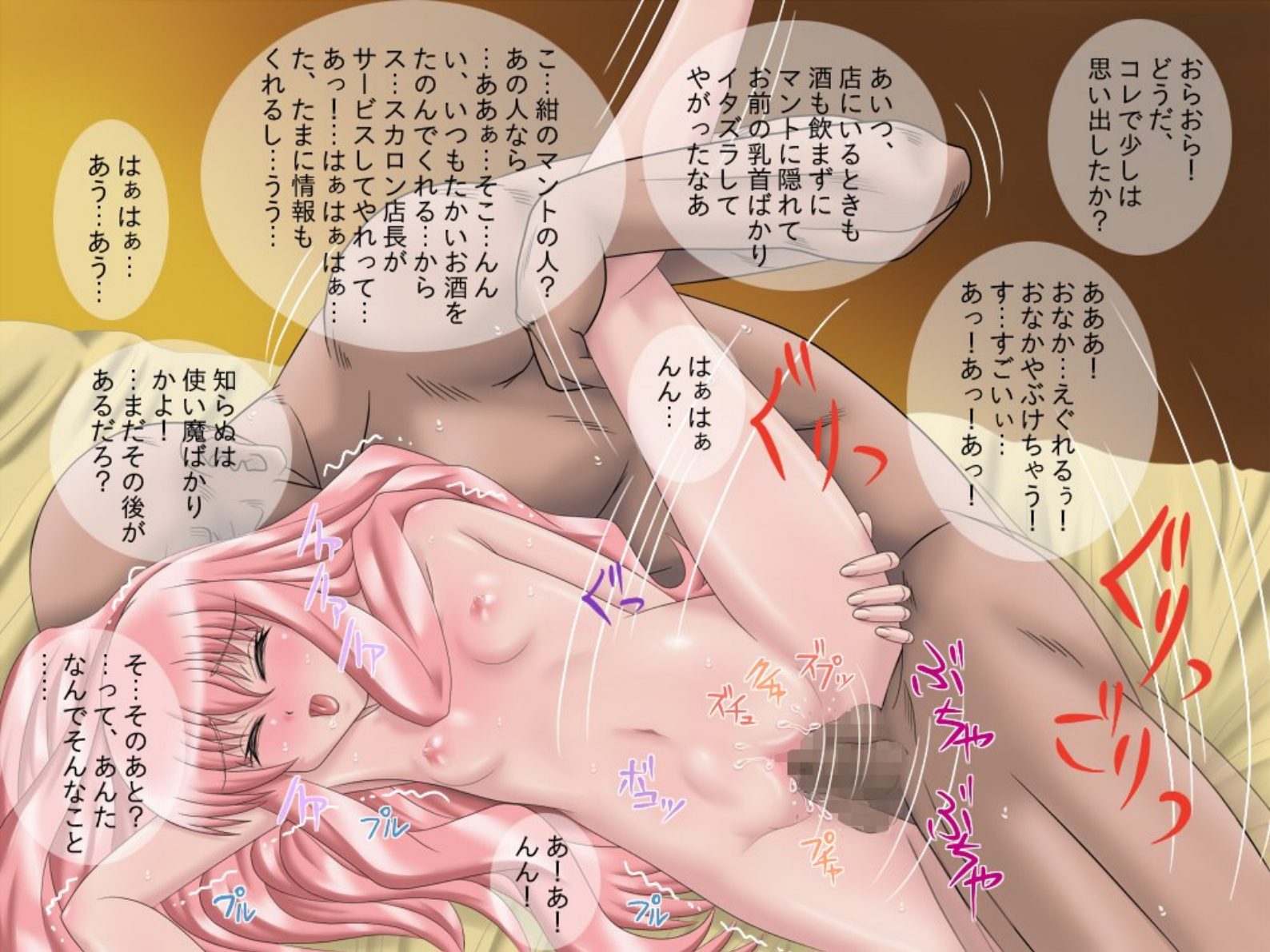
はあはあ
んん…

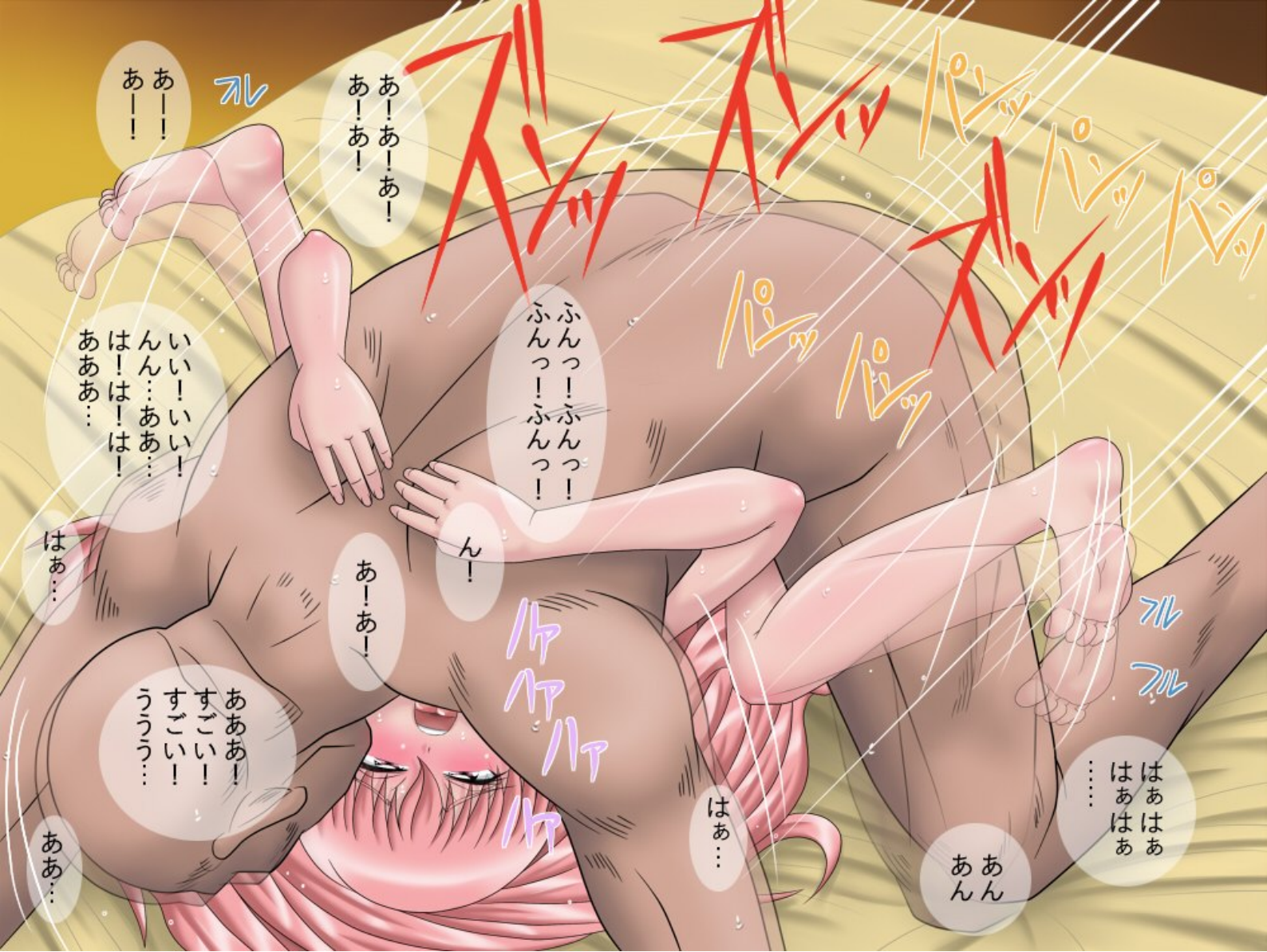
はあはあ…
あう…あう…

知らぬは
使い魔ばかり
かよ！
…まだその後が
あるだろ？

そ…そのあと？
…って、あんた
なんでそんなこと
…

あ！あ！
んん！





あー!!
あー!!

ブル

あー!!あー!!
あー!!あー!!

ふんっ!!ふんっ!!
ふんっ!!ふんっ!!

いい!!いい!!
んん!!ああ!!
は!!は!!は!!
あああ!!

はあ!!

あー!!あー!!

ん!!

ハ
ハ
ハ
ハ
ハ

あああ!!
すごい!!
すごい!!
ううう!!

ああ!!

はあ!!

はあはあ
はあはあ
はあはあ
……

あん
あん

ブル
ブル



はあはあ

ブル

はあはあはあ...
あ...あ...あ...

あ!
あ!
あ!

ん!ん!ん!
あああ!おなかが!
腰が!熱くて...
し、しびれるう...
はっ!はっ!はっ!

あ!あ!あ!
いい!いい!
もっ!もっ!
かきまわしてえ...
ん!ん!ん!

ん!ん!

あん!あん!

はあ...

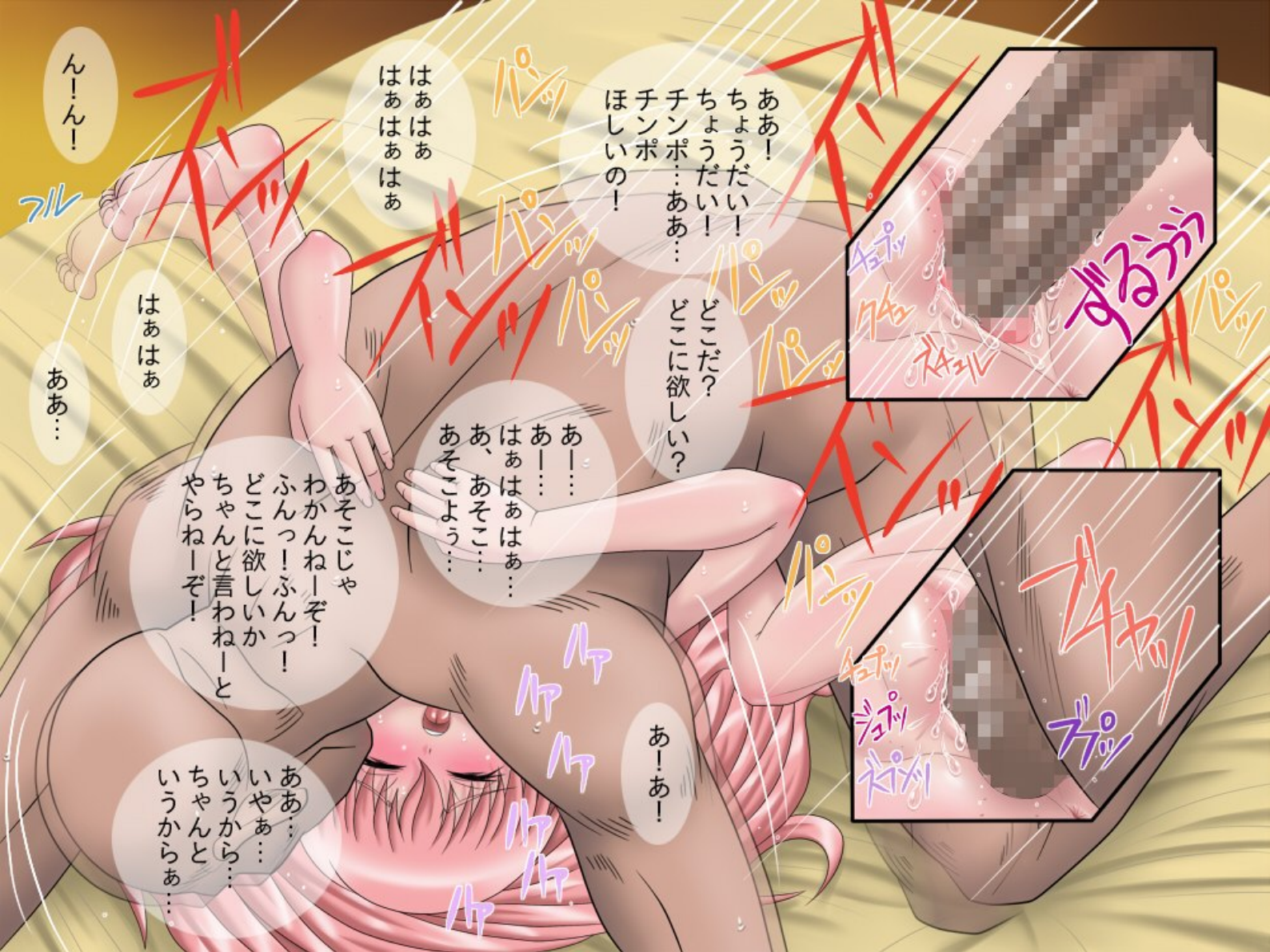
そこお...あ!あ!
ゆっくりこすってえ...
んんん...あ!あ!あ!
はやいはやい!ああ!

はあはあ

あ...
チンポ...
ううう...
熱いの...
熱いの...

ハッ
ハッ
ハッ
ハッ
ハッ
ハッ

あああ...からだか...
うう...ね、熱でとけ出して
この人と...あああ!
さつきからずっと
ふわふわって...腰が...
あたまが...からだか...
ああ...わたし...
わたし...もお...



んーん!

はあはあ
はあはあはあ

あー!
ちようだい!
ちようだい!
チンポ...ああ...
ほしいの!

どこだ?
どこに欲しい?

はあはあ

あー...

あそこじゃ
わかんねーぞ!
ふんっ!ふんっ!
どこに欲しいか
ちゃんと一言わねーと
やらねーぞ!

あー!
いやあ...
いうから...
ちゃんと
いうからあ...

あー!あー!

ハッ
ハッ
ハッ
ハッ
ハッ
ハッ
ハッ
ハッ
ハッ
ハッ





あーあ！
あん！あん！

あーあ！

あーあ！
んんん！

ああ！あああ！
ちようだい！

オ…オマンコに…
ルイズ・フランソワーズの
オマンコにチンポを…
あんたのチンポを
ちようだい！ちようだい！
あああ！



へへへ！
いいぜ！くれてやる！
こっちも出すぞ！
出すぞ！

うん！うん！
だして！
ルイズのオマンコに
だして！だして！
あ…あ…うう…

いくぞ！
いくぞ！
……！

もう…
わたしもう…
……！

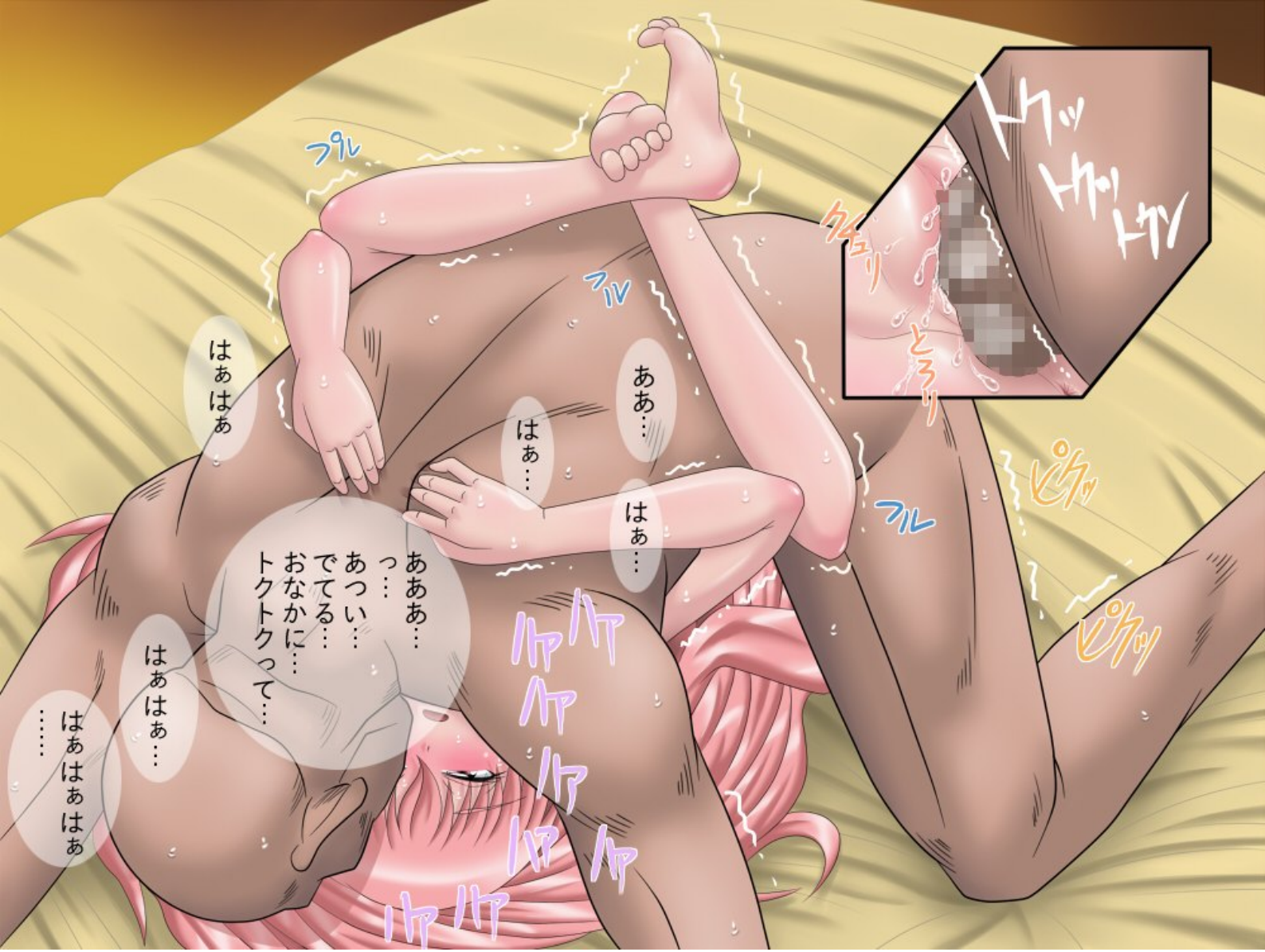
んん！

あん！あん！

はあはあ

あっあっ…

はあはあ
あ！あ！



ブル

ブル

ブル

ビク

ビク

カクリ

とろり

はあはあ

ああ…

はあ…

はあ…

あああ…
っ…
あつい…
でてる…
おなかに…
トクトクって…

はあはあ…

はあはあはあ…

ハハハハ
ハハハハ
ハハハハ
ハハハハ



ハッ

ハッ

ハッ

この後も男は…彼は
たえまなくわたしのからだをむさぼりつつけ、
わたしも無我夢中で彼をむかえ入れた…
…また、思い出すとほっぺたが赤くなるようなはしたなさで
わたしの方からも彼を求めつつけたの…

部屋に備え付けの浴室でベタベタするからだの汚れを流し、
(浴室といっても水場に木桶があるだけなの…)

急いで髪をすき、皺を伸ばしながら着てきた服に袖をとおす…
すっかり慣れた「後始末」を済ませ、香水の小瓶をとりだすと
情報のかかれた羊皮紙の巻物をさしだしながら彼が言ったの

「使い魔には指一本触れさせるなよ」

ピクリと動きの止まったわたしのくちびるを彼が激しく吸いたて、
わたしも自然と彼のくちびるを吸い返してた…

宿の外はもうすっかり夕方方で、
街のむこうに見える王宮の尖塔が夕日にきらきらと輝いてた…
貧民街を抜け、妖精亭にむかってとぼとぼ歩いてると
今もわたしの帰りを待っている才人の顔が脳裏に浮かんだ…

『プリミルにちかって才人とわかれてあんたの女になる』

…わたしは足を止めて空をあおいだ
早くもまたたく星と、見慣れた二つの月…
サモン・サーヴァントでわたしが召喚した異世界の男の子…
今まで何度も命がけでわたしを守ってくれた…

もしも…もしもすべてを打ち明けたら
わたしを許してくれるかしら？
わたしを…受け入れてくれるかしら…？

「……………あ」

プツ…ププツ…プチュツ…

「あ…ああ……」

その時、わたしの胎内に残っていた彼の精が
とつぜん股間を割ってトロトロとあふれ出た…
彼の言いつけを守ってパンティを身につけていなかったから
まるでクックペリーのジャムみたいに重くねばついた精液が
そのままゆっくりとフトモモを伝い落ち始めた…
ゆっくり…ゆっくり…ちよつとづつ…トロ…トロリ…

「ああ…ああ…そんな…」

舌とくちびるでちよつとづつじらすように
彼の精液はわたしのフトモモをゆっくり愛撫した…



そのわずかな刺激は、わたしをほんの数時間前の
ただれた時間に引き戻すのに十分だった…

からだの芯に暗い灯がともり、かすかに頬が熱くなる…
わたしは自分が誰の女なのか、あらためて思い出した…

『……ゴメンネ…ゴメンネ、才人…わたしもっ……』

気が付くと陽は落ち、辺りはすっかり暗くなって…
わたしは物陰で簡単に身づくろいを済ませると
夕暮れの街を足早に妖精亭にむかった…

本編のあとがき

みなさんこんにちは、作者の葉臥本当と申します
このたびは本作「使い魔には話せないLの秘密 それから」を
お買い上げいただき、まことにありがとうございます

本作は前作と同様、原作5巻「トリスタニアの休日」と
6巻「贖罪の炎赤石（ルビー）」の間の夏休みを舞台に、
前作「使い魔には話せないLの秘密」のそれからの話を描かせていただきました
ですので、情報収集の理由もアニメ版の「貴族の横暴を調査する」ではなく
原作版の「アルビオンによるテロ等の不正規活動の防止」を念頭に
前作同様、原作の世界観をベースにお読みいただければ幸いです

前作発表から本作まで1年以上も経ってしまいました…
なんと申しますか、ルイズに対する妄想をアレもコレもと盛り込むあまり
自分の実力を越えてしまい、このように時間がかかってしまいました
前作をお読みいただき、少しでも興味を持って続きを待ってくださった方には
本当に申し訳ない気持ちで一杯です m(_ _)m
今回時間をかけて苦闘した分、せめて今後につなげていければと考えております
呆れながら見守って頂ければこんなに嬉しい事はありません

さて、これだけ筆の運びが遅いわたくしが言うのもおこがましいのですが
できれば次作の話など…

才人が出てくる話、ルイズ以外の女性キャラも出てくる話、
もしくはそれ以外のルイズの話

…のいずれかで次のお話が出せればと妄想を膨らませております
無論、今回のように1年以上も時間をかけるつもりはありませんが
無責任に安請け合いも出来ませんので「出来る限り早く全力で」
ルイズに対するエロ情念を発表できればと思っております

最後に

前作をご購入いただいた皆様
感想や励ましの言葉を寄せてくださった皆様
皆様のおかげで投げ出しそうになるところを最後までやりぬくことが出来ました
本当にありがとうございます

また、本作をご購入いただき初めてお目にかかった皆様
拙いわたくしですが今後もお付き合いいただければ幸いです

長文乱筆失礼しました
それではまた御目汚しが叶うその日まで…